京城日報

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 印刷人 小川三之介

十一月十六日夕刊(朝夕併せて八頁)

◇聯合海上運輸會議
戰後の活躍に備ふる爲め倫敦に於て開催さる

【海外交通談】=倫敦に於て最近聯合國海上運輸會議なるもの開催せられ戰後の航運業を有效に利用する方法に就き協議したり右會議に參加せるは米國及び歐洲の主なる交戰國にして日本は之に加はり居らざるも今日迄の經過は大體日本政府に於ても承知し居れりと信ぜらる戰爭中の波瀾を受けたる戰後に於ける航運業は種々複雜せる問題を含み居り戰後各國に於て戰前よりも著しく保護政策に傾く可しこの說を爲す者多きも反對論者も尠からず獨逸の如きは戰後の活躍に備ふる爲め戰爭中より既に隱然種々の手段を講じ居りし事實あり因に獨逸航運界の大立物にて獨逸皇帝とも親密の間柄なりし漢堡亞米利加汽船會社々長バルリン氏は此程病氣にて逝去したりと(東京特電)

◇獨帝抑留さる
無期淹留を計畫す

【海牙來電】=カイゼルはホーヘンツオーレルン伯の名を以て和蘭に抑留されり同伯は同地に於て土地を買收し同地に無期淹留を計畫しつゝあり(東京特電)

◇獨軍ブラッセル通過
【桑港來電】=獨軍はブラッセルを退去しつゝあり同地一帶に敷設せる地雷火は水曜日を以て爆破せらるべし(東京特電)

◇墺帝退位と上諭
ベルン來電=墺國皇帝カール一世は十一日總理大臣ラマルシュの副署を以て其退位に關する悲痛なる上諭を發せり(東京特電)

◇ホ將軍浦鹽行
東淸鐵道長官更迭

哈爾賓來電=佛蘭西より特派のジャナン將軍出迎への爲めホルワット將軍は十二日浦鹽に赴けり尚ほホルワット將軍極東總督就任の結果東淸鐵道長官は近く更迭すべし(東京特電)

◇北京の休戰祝賀
北京來電=十四日より三日間軍隊學生の平和祝賀行列あり獨逸人の家屋は米伊の兵士に依り保護せられつゝあり(東京特電)

◇講和使節は陸氏
陸徵祥氏は講和會議開催地に派遣さる可く十四日閣議にて決定せり(北京特電)

▲梁啓超氏は支那の平和會議參加の希望を機關紙に發表せり(北京特電)

◇國會取消に贊成
北京來電=總統府の消息に依れば岑春煊、陸榮廷等は南北兩國會を取消すに贊成を表し來れり(東京特電)

◇東京市休戰祝賀
東京市にては十五日午前十時より臨時市會を開き奉祝文を可決し田尻市長は右奉祝文を携へて宮內省に出頭捧呈し尙ほ聯合國大公使館を歷訪し祝賀の意を述べたり(東京特電)

◇在營期間延長
朝鮮部隊の出征兵士

陸軍省令第二十四號を以て大正五年度步兵衛生部兵卒にして朝鮮に在る部隊より南部烏蘇里地方に派遣せる部隊に屬するものは大正八年四月除隊の日迄其在營期間を延期する旨發表せられたり(東京特電)

◇各銀行取引所休業
東京市中の各銀行取引所等は十六日休業して休戰祝賀の意を表すべし(東京特電)

◇濱田副議長
濱田衆議院副議長は十四日內地より來馬十九日鎭海灣巡視の爲め行き十六日再び來馬せり(馬山特電)

◇石塚總裁旅程
浦鹽より南滿方面を視察し吉林郎家屯を經し石塚東拓總裁は十五日午後三時四十六分來奉瀋陽館に投宿二日滯在の上大連經由青島に向ふ筈(奉天特電)

◇澤代議士旅程
大連滯在中なりし澤來太郎氏十四日午後來奉一泊十五日午前十時十分發京奉線にて天津北京地方視察の途に上れり(奉天特電)

◎獨帝退位後の局面
某軍事通談

獨逸皇帝退位は時間の問題なりしが遂に去る九日を以て之を決行するに至りたるが此は休戰委員等が聯合側提示の條件を本國政府に通達すると共に獨逸は刻下內外の窮狀に顧み速かに該條件を認容せざるべからざるを認めたる結果休戰條約調印に先立ちて退位を決行し進んで講和會議に移らんとする誠意を表明するに至りたるもの、如し然れども別報外電に依れば皇帝は退位を拒絕したる爲めマックス宰相は辭職したりと傳へらるゝも各方面より其筋に達せる電報を綜合すれば退位は眞實なりと認めらる而して皇帝退位後に於る狀勢を察するに多分皇孫ウィルヘルム、フリードリッヒ帝位に即位すべきが之が攝政たらんとする爲め各聯邦盟主は其準備運動を爲すべく就中巴威は各聯邦に比し土地廣濶にして且つ强大なる武力を有するを以て開戰以來軍事上及び食糧供給に貢献したる事勘からず從つて今回率先して共和宣言を發表したる程なれば普魯西帝の勢力に對抗して一層優勢なる狀態にあれば結局巴威は將來攝政たるべく而して聯邦參政院及び帝國議會は國民代表機關として獨逸將來の最高權力を行使することゝなるべし尙ほ獨逸せりと

休戰委員等は多分今十一日午前十一時(我十一日午後八時頃)を期し再び聯合側委員長フオッシュ將軍と此の間に會見行はれ休戰條件に對する回答を爲すべし獨逸は如上の如き形勢變轉より見るも此間曖昧なる中間的回答を爲して徒らに聯合側の威嚇を買ふよりも速かに全部を承認すべきを以てすこし直ちに調印する段取りとなり以て愈よ講和を進むべしと推せらる(十一日夜東京支局)

□贈位
百三十餘名に達せん

今回大演習行幸を機とし贈位の典を行はせらるゝ事既報の如くなるが右は德川賴房、結城宗廣(道忠)の正二位、伊達政宗の從二位、林子平の正四位を主なるものとし外百三十四名に對し贈位あらせらるゝ御趣きにて十八日發表ある可し(東京特電)

◎歐洲航路復舊
郵船會社にては今回の休戰條約調印と共に地中海は全く安全地帶となりたる爲め從來の歐洲航路希望峰迂回線を廢し地中海を通過する事となす爲め目下航海中の供炭につき交渉中なるが之れ迄ポートセッドに於て石炭の供給を受けたるも同所は石炭不足の爲め供給困難なるより他に適當の場所を選定中なれば來る十八日横濱發安藝丸は尙ほ希望峰を迂回するも次航より地中海經由となす筈にて之れが爲め歐洲航路は廿五日の短縮を來すべしと

◎政務總監歸期
慶尙北道第二回物產共進會出席の爲大邱に向へる山縣政務總監は十八日午後九時十分南大門驛著にて歸京の豫定なり

◎農務技術官會議
總督府に於ては十二月一日より七日間各道農務技術官を本府に召集し第二會議室にて小原農商工部長官總裁の下に會議を開催すべし

◎金融組合理事會
金融組合聯合會理事會同第二日は十六日午前九時より第二會議室にて開會諮問事項の答申あり正午散會

◎咸南栽桑狀況
咸南に於ける蠶業は近時著しく發達し栽桑の普及と共に桑苗の育成を爲す者漸く多きを加へ現に本年の如きは實に要する內地產苗桑種子の共同購入金額三千餘圓を算し此の金額は年次增加の趨勢を示しつゝありて播種面積三千六百八十坪播種量一斗九升四合一勺段當り播種量四合二勺なり

◎講和と朝鮮財界
反動來ら銀行業者の態度

鮮銀理事 三島太郞氏談

講和來の朝鮮財界に及ぼす影響を概言すれば朝鮮は內地の如く戰亂のために著しき好影響を受けて居らないからその蒙る反動も之れを內地に比し餘程輕からうと思はるゝ一昨年來內地に資金の充溢せる結果朝鮮にも未曾有の

▲事業勃興 を見、その多くのものは目下計畫中若くは初一歩を踏み出したばかりである、乃ち搖籃時代に講和と云ふ大變革に遭はる事となつたのであるから聊かその前途も氣遣はるゝ又實際に於て朝鮮の新事業は未だ基礎の確なるもの稱すべきものなき弱味を有すと雖も然し乍ら予の知れる限りではその多數は時局當て込みとか若くは思惑的の目論見でなく筋の通つた事業であるから此際生れ出ずして若しくはその萌芽時代に挫けるやうの事はあるまいと唯これから新に企畫さるゝものは

▲財界の安定 を見るまで消極となるを免れ難いであらうがさりとて余は半島事業界の前途を悲觀しない、物價の前途は何人も戰時相場だから必ず講和來ると共に略言した樣に今日の相場は正に若干の低落を來し平時相場の出現を見るべしと確く信じてゐる從つてその影響は多少財界に不安を與へやう、と云つても戰時の關係により騰貴した重要の生產品は米並に棉花であるが米並に棉の時價は生產費に比し稍高価に過ぎてゐる、その若干の下押しは必ずしも大に當業者の苦しむべしとは云へまい、更に高価

▲輸移入品 を持つた貿易商中には値下りによりて一時の苦痛を感ずるのも出て來やうが事業界と云ひ商界と云ひその禍亂を實際以上若くは實際以下に感ぜしめるのは銀行業者の態度如何である講和反動期に入り財界の變調を來しても銀行業者が俄にその手を引締めなければその結果は大して憂ふるに及ばず、更に角通過するであらう予は此點に於て鮮銀並びに殖銀の營業當局や支店長に常に言つてゐるが平和は何時か必ず來り反動來も免れ難いのである以上貸出しの如きは常に愼重の態度を持し成るべく

▲對人信用 の融通を狹め擔保の保留をなさしめてゐるがその結果講和反動期に際會するも朝鮮銀行や殖產銀行は變動忽ちに一部商品に對するもの並びに長期の貸出しに若干の手心を加ふる外從來の緊縮の方針を執らない、否執る必要なきやう平素より準備をしてゐるのである、若し講和反動の來る時期を迎へ金融業者が俄に緊縮態度に出づるやうの事があれば鮮滿の如き巨資を擁せる實業家の多からざる所では大抵のものは參つて終う、今後に於ける銀行の進退は非常に愼重でなければならぬと思ふ、朝鮮の財界としては以上の外

▲銀相場の變動 より受くる影響も考へねばならぬ銀の高低は色々方則を以て論ずる人もあれど中々理屈通りに進まない、その高低は日本の對支那貿易には極めて重要の關係あれど朝鮮並に滿洲の交易關係は未だ多くと云へないのであるからその變動により朝鮮財界の被る影響は恐らく大した事はないであらう

◎露貨の暴騰
休戰條約の成立は露貨の暴落を來し十四日より日滿連絡運輸に適用すべき日露貨換算率は百圓に付三百留となすべき旨京城管理局に通知ありたり

◎京畿地方費決算
松永京畿道長官は京畿道告示第五十號を以て大正六年度京畿道地方費歲入出決算の要領を發表する所ありたるが之に據れば歲入經常部に在りては豫算額五十七萬四千八百五十九圓に對する

▲決算額 五十萬四千六十二圓八十二錢にして內臨時恩賜金受入廿萬五千四百一圓九十六錢を示し歲入臨時部に在りては豫算額二十四萬一千五百七十二圓に對する決算額二十五萬九千五百四圓五十一錢三厘にして內臨時恩賜金受入十一萬七千三百八十一圓七錢を算せり卽ち豫算額合計金八十一萬六千四百三十一圓に對し決算額合計金七十六萬三千五百六十七圓三十三錢三厘にして內臨時恩賜金受入三十二萬二千七百八十三圓三錢を示せり而して歲出に在りては經常部

▲豫算額 四十七萬八千六百八十二圓に對する決算額三十九萬一千七百八十七圓七十七錢五厘にして內臨時恩賜金歲出二十萬 千五百二十四圓二十七錢を示し臨時部豫算額三十三萬七千七百四十九圓に對する決算三十二萬四千百八十一圓十五錢にして內臨時恩賜金歲出十萬五千六百四十八圓三十一錢を示せり卽ち歲出豫算額合計金八十一萬六千四百三十一圓決算額合計金七十一萬五千九百七十一圓八十五錢五厘にして內

▲臨時恩賜金 歲出三十一萬七百七十二圓五十八錢を示し歲入歲出差引殘金五萬七千五百九十五圓四十七錢八厘を算せりと

◎小原長官引籠
小原農商工部長官は病氣にて引籠り加療中なり

◎關屋局長歸任期
大邱に於ける公立普通學校長及び小學校長會議に出席の爲出張中の關屋學務局長は十七日午後九時十分南大門驛著列車にて歸京の豫定也

◎英總領事歸國
京城駐在英國總領事アーサー、ハイド、レー氏は夫人同伴一箇年間の賜暇を得て十二月二日京城出發神戶より乘船米國を經て歸國の由に就き久水外事課長は來る二十七日同氏夫妻並に同氏と親交ある英米人其他十數名を朝鮮ホテルに招待し晚餐會を催す筈なり

◎派遣員出發
總督府よりは西伯利經濟狀況視察の爲派遣を命ぜられたる事務官本岡榮次郞氏及び京城商業會議所議員西伯利調査員西米地造酒彌兩氏は十六日午後九時四十分南大門驛發列車にて出發すべし

◎元山港口新燈臺
十一月二十日より咸南葛麻角に左記の燈臺を建設し點火する事となり尙ほ同時に葛麻角燈竿は同日限りこれを撤去する由

▲位置 元山港口葛麻角
▲燈級及燈質 無等アガ式瓦斯群閃光白色每二秒半時を隔て一秒半時間に二閃光を發す
▲構造及塗色 塼瓦造白色
▲光達距離 晴天の夜十二浬

◎府內巡閲開始
總督府に於ては例年の通り十五日總務課長及び會計課長立會にて府內及び所屬官署の室內巡閲を開始せり

◎關門記者團來鮮
大每記者大內秀麿、日本の關門記者柳池寶、九日記者島田信次、馬關每日記者藤井素仙の四氏は慶北共進會視察の爲め十五日關釜連絡丸にて上陸直ちに北行したり(釜山)

人事消息
▲永田光之助氏(總督府鐵道局技師)線路調査の爲湖南線に出張を命ぜらる

▲杉本良氏(總督府事務官)稅務事務視察の爲慶尙南北道及京畿稅務監督局管內へ出張を命ぜらる

◎休戰條約の眞義
某外交通談

米國大統領ウイルソン氏は十一日議會に對し聯合國の獨逸に對して爲せる休戰條約大項十一個條を發表せる趣きなるが同條項はフオッシュ將軍の提示せる者の綱要を摘示せるものならんと信ぜらるゝが右の內注目を要すべきは先づ第一條の休戰期間の決定に在りて聯合國は十一月十一日より向ふ三十日間を以て休戰期間と爲し同期間に於て講和の步を進めんとするものにして而も萬一三十日間に於て講和の締結を成す能はざるの場合に於ては或は更に期間を延長するに至るやも知れず之れ獨逸に取りては國內の事情到底戰鬪に耐へ得ざるものあるに拘らず休戰條件の履行意の如く進捗せざるに於ては勢ひ期日の延長を必要とするものあるべきを以てなり斯の如くにして聯合國は一方に獨逸の休戰條件實行を監視しつゝ講和商議の步を進むるに至るべきならんと推察せらる又講和會議の開催地等は未だ不定なるも何れヴエルサイユ會議にて近く決定せらるべきならん此外同休戰條件中に於て目新しく感ぜらるゝはブレスト、リトウスク及びブカレスト條約を廢棄することゝいふ從來獨逸が成せる對露對羅の壓迫を抑壓したるの點に在らざるべからず之れ聯合側政治家の數次提言したるの問題たりしなり又たアルサスローレン還附及び白耳義に對する問題等の同休戰條件中に列擧せられざりしは從來數次ウイルソン大統領により具體的に說示せられしこともありて自から明白なるもの、あるが爲めならんと推測せらる(十一日夜東京支局)

◎東京京城間の新電信線開通期
十一月中に通信可能とならん

碓井遞信技師の談に曰く、遞信省の臨時事件費にて東京釜山間を總督府の豫備費にて釜山京城間を時局の必要上架設する事となりたる

▲東京京城間 の新電信線工事は夙に材料蒐集中の所最近略準備終れるを以て遞信省作業部神繩丸は關釜間海底電信線の材料を積載して十七日長崎より釜山に入港直ちに敷設を開始する豫定に付二十二三日までに關釜間の敷設を終るべし而して東京下關間は最近遞信省にて工事を了したる東京大連線の陸上線(明年全通の豫定)を一時連結する事に決定更に釜山京城間は京釜間現在の直通電信線を結び付くる事となりたるに付本月末までには東京大阪京城三局を連結せる一回線の電信線增設を完了し直に通信可能となるべく其後東京大阪京城三地間の電信は著しく迅速を來し從來に比し

▲面目を一新 すべし尚ほ新東京京城線に切り替ゆるため新に架設を要する京城釜山間の電信線は目下材料の購入中に付竪け次第架設すべきが本線は東京線の如く焦眉の急を要するものとは云ひ難く若干期間の遲延は忍び難きならず

◎鎭海要港部異動
今回の海軍異動に伴ひ鎭海要港部にても多少の異動ありたるが今其主なるものを報道せんに鎭海防備隊司令海軍中佐綾部靖太郞氏は佐世保鎭守府附に同要港部附海軍大尉黑田秀夫氏は砲術學校附に第二十七驅逐隊主計長大主計今井三二氏は淀主計長に轉補され綾部防備隊司令の後任には吳要港部員末次嘉吉氏を又佐世保鎭守府附大尉城勉氏は要港部附に武藏主計長大主計藤本六郞氏は第二十七

茶前酒後
◇獨逸の革命が、流血を見ずして遂行せられたるは、其の革命が智識階級を網羅せしに由るべし。露西亞の如く、野次混じりのわいわいに非ざりしが爲也。新政府を率するはエルベルトなるが如し。エルベルトは獨逸の多數黨たる中央黨に次ぐ、社會黨の領袖にして、ハーゼー一派の獨立社會黨も、同一步調に出んとするが故に、事實に於て、彼は獨逸大多數黨の擁護あれば、マックスやヘルトリング等よりは、より以上の活動をなし能ふべし。然れども之が獨逸國民全體の、意志を正當に代表せるものなりや否やは、未だ疑問たらざるを得ず。

◇獨逸皇太子の死を傳ふるものあり、眞否は勿論未だ不明也。若し之をして事實たらしめば、之が即ち泣面に蜂、落ち目にたたり目也。然れども其死が、今日の獨逸に取りては、一ホーヘンツオルレン家の悲慘事にして、國家には大した る直接の關係を有せざるべし。

◇皇太子の死よりも、獨逸に取りての打擊は、漢堡阿米利加汽船會社長バルリンの死なるべし、彼や實に獨逸の海上王にして、空中王ツェッペリン伯と併稱せられたる人なりし也。帝政碎け、海上、空中兩王も亦空し、憐むべき哉獨逸。

◇墺共和政體
墺國は共和政體を可決せり(倫敦電報)

◇獨士官逃走頻々
和蘭國境開放され獨逸士官の和蘭に逃走するもの頻々たり(倫敦電報)

◇即刻講和と米國
獨逸の要求せる即刻講和會議開催に對し米國は未だ態度を決せず(倫敦電報)

◇白國皇帝還都
白耳義皇帝アルベルト陛下は十五日ブラッセルに入る可く豫期さる(巴里電報)

◇講和使節陸軍隨員
日本よりの講和會議特派全權使節の陸軍側隨員は參謀次長福田雅太郞中將なる可し(東京電報)

ハカリ印

此狂歌は事實を詠んである……ハカリ印のヘブリン丸がかぜは勿論ねつ一切に驚くべき効能のあることは滿天下の實地經驗にて明白である

大阪道修町一丁目 合資會社 參天堂

定價十錢以上、家庭用五十錢、一圓

平和株として頗る有望なる東洋信託株提供

東西紳商の發起に係る東洋信託株式會社は朝鮮、支那、露國等に於ける信託業を營み因て東洋に於ける信託業の覇者たるの運命を以て創立されたる會社なれば發起人に於て向ふ三ケ年間一割以上の配當保證したる所以は既に多言を贅せず

斯る有望なる株式に對し吾人は大に申込する所あり當初企業の時に於て逸早く最も親交ある發起人賛成人諸氏に依りて特に割讓を乞ひ得たるを以て平素の厚眷に酬ゆべく左の條件に依り此際至急申込あらんことを江湖に希ふ但し申込株數に制限あり且つ申込期間內と雖も締切時は期間內と雖も締切可申候

▲年當割以上配當付 五百株限 早い勝ち 割安賣出し

提供要項

提供價格 一株に付 金拾壹圓均一(第一回十二圓五十錢拂込濟の者)

申込單位 拾株以上

〆切期日 十一月二十日

申込證據金 一株ニ付金五圓

送達方法 先着順に荷爲替又は代金引替郵便にて送達す

公債證券 現物賣買業 大阪市北區堂島船大工町 浪速信託合資會社 電話北長一一九一、八三四番 振替大阪一〇八二二 電略(ナニ)

東京 大阪 自動車學校

自動車運轉手技師販賣員短期養成●校外生と雖莫大の收入あり

東京市京橋區 大阪市西區市岡 生徒募集 校外生及校內生三百名何人も入學許す規則雜誌送與

株式申込期限延期廣告

當會社募集株式申込期限を十一月十九日迄に延期致候也

滿蒙毛織株式會社創立事務所

大正七年七月一日改正現行

[illegible]

★**戰熄みぬ** 天の歡びよ！地の喜びよ！世界の歴史あつて以來未だ見ざる處の世界大戰亂は大正七年十一月十一日午前十一時を以て終熄しぬ 軍國主義の權化なる獨帝は今や惑亂の故國に背いて身を以て脫れ、正義と平和の愛好者たる聯合國は國を擧げて歡喜熱呼す、戰爭の繼續すること茲に四年と三箇月世界の形勢は根柢より一變し聯合與國に幸福を齎す日となりぬ、けふ十六日わが京城亦全市を擧げて此光榮の日を祝したり（寫眞は聯合與國同盟の客が交歡する朝鮮ホテル正門に飜るは右より日佛英米四國の國旗なり）

祝盃を擧げて……
大噪ぎの在留聯合國民
市内には各聯合與國旗が歡びの羽ばたきをなして……

休戰祝賀の日!!! 平和を象徵するやうな靜謐な鈍日を受けて京城の市街には聯合各國旗が緩やかに飜つた。斯うした光景を見る在京英、米、佛、露、伊、白其他の聯合與國民は共に萬歲を叫び、祝捷の杯を擧げて居るであらう。此の祝賀當日の縮圖とも見るべき朝鮮ホテルの正門に掲げられた日、英、米、佛の大國旗は生々とした精彩を放ち、恰も歡びの羽叩たきをして居るやうに飜つて居る。投宿中の聯合各國人の樣子如何にと事務所に就いて聞いて見る。何でも休戰條約調印の電報がホテルに舞ひ込んだ時は投宿中の外人悉く相會して祝盃を擧げ演說や歡談で大噪ぎであつた。今日は格別宴會など催す樣子もないが、ホテルの方では祝意を表する爲めお客一同に特別の御馳走をする。現在の客は米人十五人、英人五人、其他露西亞の婦人等であるが殆ど商人である。それでもまだ祝ひ切れないとあつて十九日頃には在京聯合側歐米人を網羅して大祝賀會を催す計畫ださうである

◇**美術協會行啓** 皇后陛下には十五日上野美術協會に行啓遊ばされたり（東京特電）

▽**奉天の祝賀會** 對獨休戰條約調印の旨發表を見るや十三日奉天市内は悉く國旗を掲揚して祝意を表し午後五時より六國會館に於て内外人大聯合會の一大祝賀會を開催したるが頗る盛會なりき（奉天）

○大戰の……
死者八百萬
三十三ヶ國で費つた金は二千億圓

硝煙と腥血とに彩られた世界の戰爭も愈々獨逸の屈服に依つて四年三月目で終局を告げる事になつた、此大戰の恐く可き總勘定に就て長瀨鳳輔氏は語る『此未曾有の大戰に關係した國は實に三十三箇國全世界の獨立國の七割に當り人口の上から之れを觀れば戰爭參加國人員は世界人口の九割を占めて居る **戰死** 戰死者乃至負傷者の概數から言へば戰死者は敵國側は約三百萬人で聯合國側は五百萬人即ち彼我双方で八百萬人の人間が死んだ 負傷者に至つては敵味方合せて三千萬人の多くに及び死傷者は我國人口の三分の二程に達したといふ可きである、更に驚く可きは大戰爭に費した即用即ち戰費は概算で二千億圓であると口でこそ二千億圓といふが實際は從來想像もしなかつた金高である、英佛其他各交戰國は各々國富の三割乃至四割を費消した之を過去六十年間全世界に起つた戰爭即ちクリミヤ、普佛、露土、南北及び日清、日露の各戰爭に使つた總戰費約三百億に比較すると殆んど十倍である、更に交戰各國が喪失した船の數は約八千艘で總噸數は二千萬噸で全世界船舶數の約三割を占め此戰爭に依つて生じた經濟的損害に至つては到底測り得ぬ程多大なものであらう』（東京）

○御想像下さい
白耳義の喜びを……
四ケ年間雲に包まれて太陽が今照るのです……
◇最後の勝利は正義の手に歸した

休戰條約正文に接した白耳義公使ドラフハイユ氏は躍上がらんばかりに喜びて語る『豫期はして居たが事實となると喜びは又新しい千九百十四年白耳義は暴虐な獨逸の鐵蹄に蹂躙された態が花園に暴れるやうに、それからそれへ世界に捲き起つた大戰爭の發頭人は獨帝で彼は人類の殆んど總てに獨逸皇帝なる

▲**王冠の權威** で血と涙と屍を配分し而して今皇帝自身も亦其應報を受けて慘たらしい國民の悲劇の大詰の幕に苦しんで居るのだ顧みよ白耳義を國士の殆ど總てを敵に委して尙屈せずアルベルト陛下は或は劍を取られ或は飛行機の上に仰ぐ勇敢なる英姿こそ眞に血に咲く

▲**最高の崇美** ではなかつたか兵士の妻子は惡魔も面を背くる殘虐を被つた而も白耳義の兵士は海を渡つてイープル方面の線を固守し敵をして遂に拔く能はざらしめた曾てリエージ方面に於ける如き獨軍の襲來を受けて屈せず英佛軍に充分の餘裕を與へたこと最後の勝利が白耳義軍の戰線の一角より來たとは史上

▲**無比の光輝** ある戰史ではあるまいか而も我戰線にある同胞が四年の間妻子の安否さへ知る由もない苦境に居たとは人をして號泣せしむる、壯烈の持續だ、白耳義は英、佛、露、獨の諸國から中立を保障された國だ而も獨逸が之を侵すや私の國は敢然として

▲**正義の爲に** 立つた英國の參戰は此後に決定したものである最大の陸軍國と白耳義との無謀なる戰ひだ若し西部戰線に聯合軍の破れて白耳義は亡びたとしても國際信義に殉じた勇敢なる小白耳義の名は史上に輝いたらう白耳義國民は勝利の今日正義の尊重者として此一點を誇る・は無上なる誇、絕大の感謝である獨逸はドウです戰敗の今日何物を有して居るか不信不義の名のみではないか御想像下さい四箇年間雲に包まれた太陽が今照るのです』（東京）

○大演習"第二日"
攻擊の開始

大元帥陛下には十五日午前九時三十五分栃木大本營御出門十時四十分新治驛御著同驛より一里半なる御野立所に向はせられ親しく梅津少佐より東西兩軍の戰況を聞召されたり此日朝霧立罩むる中を東軍第十八號及び第二百十號西軍第二百二十六號及び第二百二十三號標は各午前九時頃より行動を開始して敵陣地の偵察に努め東軍主力は拂曉を以て下館に向ひ攻擊を開始せり（栃木特電）

○喜望峯航路廢止
獨屈服の影響
安藝丸が最後として

日本郵船會社にては昨春以來地中海の危險を避けて歐洲航路船を殘らず南阿迂回の航路に就かしめ來りしも地中海に於ける危險は既に一掃されたるより來十六日神戶を出帆して倫敦に向ふ安藝丸を南阿迂回航路の最終船と爲し次便の加賀丸よりは地中海航路に復舊せしむる事となり同航路に乘船契約を爲したる旅客及び貨主に對し夫々通知を爲したりしが右航路復舊の結果として從來神戶、横濱間を缺航し居たりし同社歐洲航路のメール船は今後横濱より出帆する事となり加賀丸より之を實行する筈なり（横濱）

○自動車隊北行

西伯利の曠野に向け出發せし第二自動車隊は十三日午後六時半及び九時半の二回に別れ降り積りたる白皚々たる雪を冒して奉天驛通過北行せるが驛には官民多數の送迎ありて盛んなりき（奉天）

○一千萬留の露貨僞造

白耳義人マグロマテ（三七）は銀座三丁目印刷業三間方へ觀察加の地圖を印刷すると稱し一千萬ルーブルの露國紙幣の僞造印刷方を依託せること露見し十四日檢擧せられ東京監獄に護送さる（東京特電）

○地震歇まず
湖底龜裂を生ず
信州の慘事

大町の地震は十二日に至るも強震歇まず、一時間を通じ四十回の氣動あり、大砲の如く遠雷の如き音響絕えず信濃鐵道は線路に凹凸或は彎曲を生じ列車は大町松川間を休止し又平地先信州夏季大學講堂下の縣道約七八間、龜裂し尙ほ木崎湖底に數箇所

▼**龜裂を生じ** たるを發見し社村は縣道七十間決潰し交通杜絕せり平村は全潰一戶、半潰一戶、壁の落ちたるもの三百四十戶あり長野縣にては大森技手の派遣方を其筋に申請せり地震の區域は常盤村、平村、社村、神城村に亘り大町最も甚だしく全町の家屋は殆ど矮屋の如く町民は廣き道路に疊を敷き板圍ひを爲し天幕張りにて野宿する有樣にて郡役所警察署より焚出しを開始せり十一日夜は又雨

▼**焚火を爲し** 又は炬燵して屋外に心身疲れ子供も大男も重なり合つて不安の眠りに陷りつゝあり十二日朝に至るも誰れ炊事を爲すものなく一方町を流るゝ六尺の小川は崩れ落ちる物品にて堰止められ水は町一杯に氾濫し床下に浸水したるもの數からず消防夫は辛うじて防水しつゝありき（松本特電）

○四人組の僞大盡
捕へて見れば六千圓の横領犯人

本年七月頃より平壤賑町遊廓貸座敷美人樓、若松樓、思君樓、文明樓其他に於て成金風を吹かせ大豪遊を極め込み或は娼妓を落籍する等四人組の自稱鑛業家あるを早くも平壤署の探知する處となり内偵中なりしが愈此等

▲**四人組** は六千餘圓の横領犯人なること判明し七日金重刑事の手に依つて引致されたり今彼等四名に對する罪狀を聞くに、四人組の主謀者は原籍長崎縣西彼杵郡長與村當時黃海道黃州郡兼二浦黃州鐵山事務所主任岩永末太郞（三）なるが元來黃州鐵山は滿洲本溪湖煤鐵公司の經營にして同所用達久留米高號が採掘及び運搬請負を爲し岩永は其主任として派遣されたる雇人にも拘らず同人は常に黃州鐵山を自己の所有

▲**鑛山の** 如く裝ひ今夏頃より平壤賑町美人樓に登樓し大盡風を吹かし遂に馴染なる同樓抱へ萩妓梅櫻事竹田佐江（二）が八月初旬千百十五圓を以て落籍し爾來其後も他の三人と共に豪遊をなし遂に帳簿に六千餘圓の大穴を開けたるものなり、又岩永の部下たる大分縣宇佐郡豐川村當時鐵山事務所に働き居る波田久米夫（三）同縣速見郡日出町生れ現在壁係り宇野誠治（三〇）同縣下毛郡人大庭與平（元）の三名は何れも高給者なるが共謀して鑛主の金錢を横領し着服し賑町妓樓に於て

▲**成金風** を吹かせ大庭は本年九月思君樓抱娼妓照駒事尾崎きぬ（三）を三百二十圓にて落籍し宇野は若松樓抱小奴事中村ちこせ（二）及思君樓の君香こと内藤初子（二）を三百二十圓にて落籍し（二）及思君樓の春子事稻田はる（三）と文明樓の文彌事橋爪ひさ（三）を敵娼として波田は五百圓、宇野は六百圓、大庭は一千圓を横領消費せしのみならず尙ほ宇野、岩永、波田の三人共謀にて鐵嶺人夫を造り文書僞造を爲せしことも判明せしが目下尙餘罪ある見込みにて嚴重に取調中なり

○藥が下る
大戰に影響して騰り講和來で下る
◇殊に工業藥品はヒドイ
苛性曹達は二割五分―まだまだ下る

歐洲の大戰が影響してトンく拍子の暴騰を來した藥の値段は最近になつて世界風邪の猛威が颶風の如に全國を吹き捲くつたので之に連れて解熱を主とした藥品は到る處に品不足を告げ日毎に騰上がつて天井知らずの有樣で隨分な馬鹿値を示して居たが

▽…**平和來** と來たので是迄暴騰に暴騰を重ねて居た諸物價は次第々々に下落する許りと成つて來た、中でも馬鹿に高價を示して居た藥品の暴落は甚だしいもので工業用の藥品と來たらそれこそ馬鹿氣た下落である右に就て某藥問屋の主人は語る『醫藥品の方は流行性感冒もまだ盛んだし中には日本では何うしても出來ない品もあるので割合に堅實な步調を見せて居るやうであるが工業藥品の方はヒドク亂調子で危險性を帶びてゐると云ひ得る殊に工業藥品中の

▽…**王者て** ある曹達灰の如きは工業勃興の氣運に唆られ一時盛んに需要されたが爲め實際藥品輸入業者以外の貿易業者までが爭つて米國から荷を引いて來たものである、從つて在荷は大豐富である處へ此講和來とあつて一度に相場が崩れて來た、即ち一ポンド十五六錢を唱へてゐたものが十三日には十一錢となり又苛性曹達の如きも一ポンドに對する七八錢下落の三十三四錢を呼ぶに至つた、此樣子ではまだく下落するに定つてゐるが斯うなると藥品を多量に收藏してゐる者の

▽…**狼狽は** 一通りではない藥品の方は總體に實際の需要に由つて堅い相場を見せてゐるが爲め左程の暴落を演じないそれでも石炭酸が四十錢安の一ポンド一圓廿錢、アスピリンが三四十錢安の五圓五十錢、グリセリンが二三十錢安の三圓を唱へた、此先グリセリンの如きは砲兵工廠の需要が減じて講和が全く完成される場合にはドシく暴落するものと考へてゐる其他の藥品も一樣に多大の暴落をしたので先を見越して買占めて置いた連中は莫大の損失なので青息吐息であらうと

○赤色の標木
本町筋を通る自轉車は徐行せよ

本町筋に於ける自轉車の疾走は危險なるに付本町署に於ては先般來之れが取締を勵行せしが尙は通行保全の徹底を期する爲め十四日より府廳前本町入口、同明治町曲り角、同二丁目永樂町曲り角、同三丁目若草町曲り角、同四丁目花園町曲り角、同五丁目山口醫院右角に赤色の標木を建白字を以て自轉車徐行の注意を與ふることゝせり

○米豆の檢査をして……
米穀價格の向上を計る
米豆檢査所設立

南大門驛構内吉野町一丁目に十五日から宮川富士夫氏を主事として米豆檢査所が開設された從來各地方にこの米豆檢査所は設置されてあつたが京畿道では檢査所を設けるだけの作がなかつたので今度、その目的とする處は產業の獎勵と價格の向上であるが從來は交通の便もよし各地方から輸入されて居たものが今後は反對に各米豆を檢査の結果等級を附しそれに落選したものをそこの土地の者が食ふ事になる最初の日の十五日既に數百人の提出品があつたがまだ等級を附する事が出來ぬとの所員の談である尙京畿道ではこれがため邑内の米穀商組合の同業者を集めて注意を與へたさうである

○奉天の大雪
牡丹雪五寸

十三日午前十時頃より風無く珍らしくも大なる牡丹雪降り出し見る間に五寸餘につもり一面の銀世界を現はしたり（奉天）

○西本願寺の御忌

若草町本願寺にては十日逮夜より十六日々中迄宗祖大師の御忌引上法要を執行せるが十五日晨朝は松原輪番の讃嘆あり本山の儀式に準じて式を行ひ大逮夜には石塚輪番助動の莊嚴なる御傳記拜讀ありて引續き各開教師等の講話徹宵ありて善男善女の參拜堂に溢れたり尙十六日には東本願寺その他内鮮知名の士の參拜多かりしと

○豆滿江流氷

二三日以來氣温劇降の爲豆滿江の流水激しく航通危險なり全然結氷する迄朝鮮經由郵便電信も不通となることあるべし

○記念展覽會

木浦小學校にては十五日より三日間の豫定にて開校二十周年記念展覽會を開催したるが同市民は是を機として十年間勤續の吉村同校長を表彰すべく目下準備中なりと

○木石書會秋季大會
席畫の依賴に應ず

久保田天南氏を會長とせる木石書會は十七日南山町梅の家に於て秋季大會を擧行し會員の揮毫に係る花鳥山水百有餘點を陳列し一般同好の士に觀覽せしむるの外當日は會長以下會員多數出席記念の爲め用紙實費のみにて席畫の依賴に應ずべし

◎**光化門局の雇員採用** 光化門郵便局に於ては試驗の上内地人事務員十名を採用する由に付希望の者は十一月二十五日までに履歷書を添へ申出づべし尙試驗は高等小學卒業程度にして初任月收二十八圓位尙相當の經歷を有する者は前俸給額までを給すと

◇**ミカン**◇ 日本蜜柑の初めて滿洲に入りしは去る明治三十九年なりしが本年も季節に入りて蜜柑の初物四箱程奉天市場に着荷したり而して値段は一個（滿洲貨四錢）八個五十錢にて斯かる高値の相場は[illegible]てなり（奉天）

○明年日用便覽

仁川觀測所内氣象講話會にて發行する大正八年日用便覽は十二月中出版の豫定なるが日月の出入時刻高潮時、氣象に關する統計、度量衡、寒暖計換算表朝鮮著名の山岳、河川、湖沼等日要必須の事項を輯錄せり定價廿五錢購入希望の向は最寄測候所に申込むべし

○**有馬營官母堂葬儀** 十一日東京に於て死去したる總督府營林廠有馬英二氏母堂喜美子の葬儀十三日後一時東京本鄕區駒込蓬萊町光源寺に於て執行の筈なり

寺社と教會

▲妙心寺別院（長沙洞）十七日午前十時より大詔奉讀報告會尙十八日午後一時より臨濟婦人會（師家小林[illegible]講話あり
▲京城日本基督教會（長谷川町）十七日午前九時日曜學校同十時禮拜說教『ヤコブの夢』秋月致氏午後七時半傳道說教『[illegible]』同氏
▲救世軍集會（永樂町）十六日夜七時よりキリスト傳の幻燈會を催す由十七日夜八時より石島少佐『心の平和』の話あり
▲京城組合教會（南米倉町）十七日午前十時說教『青年の祭』吉木牧師同日午後七時半說教『信の人ハインツ』同上尙午後會同は讃美歌練習研究あり

□**給仕入用** 希望者は本人直接來談あれ但し市内に確實なる保證人を要す
京城日報社編輯局

演藝案內

壽館 本町一丁目 電話一〇五〇
▲自十一月十六日 ▲浪界の天才ダイヤモンド雲子 ▲寛永御前試合（[illegible]）▲新内三勝半（富士の花櫻）▲三國一つくれの館 ▲成田利生記（綾吉）[illegible] ▲人情ばなし（三遊亭[illegible]）▲軍人教育[illegible] ▲[illegible]中佐（和田[illegible]）▲宗五郎二つ巴（座長雲子）

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社代理店
▲自十五日より新寫眞 ◎滑稽 愛らしき動物 ▲米國キーストン會社秀作 ◎活劇『三度目』全二卷 ▲米國ルーピン會社傑作 ◎人情活劇『妖雲』全三卷 △日本新派悲劇『迷の雲』全三卷 ◎舊劇 尾上松之助一座『一寸德兵衛』二百五場

壽座 本町三丁目 電話五七八番
大阪歌舞伎大一座 當十一月十七日七回目 前狂言 不破數右エ門 中狂言 艶容女舞衣 三勝半七 酒屋ノ場 大序ヨリ大詰迄 切狂言 娘昔八丈 白木屋ノ場

浪花館 御禮 大入 女義長廣一行 十八番語物 阪旭若 邦仙龍 勝長廣 壹合三

有樂館 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 東京小林商會・ユニヴァサル會社特約
◎大活劇『寢臺車の秘密』全三卷 ◎滑稽 地圖の陰 長尺 ◎奇活劇『夜半の叫』全三卷 ◎新作『くらがり峠』全一卷 ◎悲劇『黑鷲』全五卷

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番
大阪一流女義太夫竹本長廣大一座

黃金館 電話二二六六
◎大活劇『大秘密』全五十卷 ◎『左甚五郎』全四卷 ◎『花時雨』全四卷

欅材 古家 賣買 建築請負業 諸車輪形 製作販賣 深堀元市 京城府黃金町四丁目四角 電話三五二番

セーフティファースト 安全第一の かぜねつ藥 特效
丹平商會發賣の『蛇印』アンチピリン丸
特長 ▲最新高貴藥の配伍。▲絕對に副作用なし。▲胃中に溶解し易し。
主效 かぜ、ねつ、はやりかぜ、頭痛、麻疹、リウマチス、オコリ、其他熱ある一切に偉效あり
藥價 □十錢 □廿五錢 □五十錢 到る處の藥店に販賣す
コドモ（七歳以下）のかぜねつにオイン 藥價十五錢三十錢各藥店に有

母喜美儀病氣の處療養不相叶十一日午後一時死去致候間此段謹告仕候
追而葬儀は十三日午後一時東京市本鄕區駒込蓬萊町光源寺に於て佛式相營み申候
大正七年十一月十六日
男 栗山俊一 有馬英二 栗山俊雄 栗山茂 栗山實 能登庄吉 六角謙吉 天谷長兵衛
親戚總代

○**新義州雜俎** [illegible]
▲[illegible]ては十五日午前十時半頃より江岸通り稅關波止場附近に於て秋期[illegible]を執行したるが[illegible]
▲吉武博士來新 東京高等工業學校[illegible]
[illegible]步兵第七十七聯隊田山一等軍醫は十三日來新十四日[illegible]
[illegible]民は京城へ出張中の處十四日夜歸[illegible]の處既に認可ありたるを以て不日改正細則の發表を見るべし

○**安東市況閑散** [illegible]にも拘らず大口小口ともに取引なく又一方輸入向にありても時節柄なれども近來銀相場下落に[illegible]引合ふにも拘らず[illegible]爲め安東市場は去る十月下旬より引續き閑散に閑散を加へつゝあり

○**連絡船上陸客** 十五 大野實二林芳州[illegible]
◆十六日午後入港對馬丸 二等客[illegible]

天氣 小雨 但曇（十七日午前六時迄）
十一月十七日 日出 午前七時[illegible] 日入 午後五時[illegible]

京日小供ページ

美味しい

食物の食べ方

徳川三代將軍家光公が何を食べても美味しくないと云ふお話をなさいますと傍で聞いて居た澤庵和尚がそれなら來る何日に私の寺にお出でなさい、無類の美味しい物を御馳走しようと申しました家光公は毎日其の日を待つて其の日が來ると早速出かけて參りました、澤庵和尚はお話をするばかりで二時間經つても三時間經つてもお茶一杯飲ませません其の内に家光公はお腹が空いて堪らなくなりました、やつと持運ばれた御馳走は麥飯と味噌汁と澤庵の漬物だけであります、家光公は何だこんな不味いものは食べられるものかと思ひましたが何しろお腹が空いてますから思はず識らず五六杯をお替をして食べられました而して和尚に大層美味しかつたと云はれますと和尚はニコ〳〵笑つて何でも美味しく食べようと思へばお腹を空かして食べるに限りますと申しました。

紅葉山

淚光山人

月のよい夜に出て見ればやさしくまれくお月様田舍のやうな尾を引いて此の空にも小手まねき親の無い子は旅に出て月のよい夜に山越えて月の無い夜に河越えて秋野に鍬の渡る時はぐれまいぞや二人の子供空泣み渡る秋の雨紅葉の山の陰から、たづねる親の名を呼べばやがてきこゆる父の聲、やがてきこゆる母の聲

白髮銀鬚のお爺さんの唄は終りました、そして小手まねきするやうに夜の幕の中へとかくれてしまつた、兄の多吉はころりと起き上つて目をこすりながら四邊を不思議さうに見廻しました、凍つたやうな晩秋の月が海苔に寒い、そして大變に勞れて眠つて居る弟の虎藏と不思議な歌に不意な夢を破られて寒さ身に泌み目をみはる自分とを冷たく照して居るばかりで彼方の農家からは砧打つ音がチラリホラリと見ねて居る灯に聞ねて來ます

『ホイ虎、起きよ、虎、起きないか』死んだやうに眠つてる虎藏をゆり起すと

『アッおかしいな』立上つた弟は兄のした通りに目をこすつて四邊を見廻しました

『虎どうしたのだ』

『空泣み渡る秋の雨、紅葉の山の陰から、たづねる親の名を呼べばやがて聞ゆる父の聲、やがて聞ゆる母の聲……おかしいなあ』

『虎お前も聞いたのか』

『そしてあの不思議なお爺さんも見たのか』

『うん見た、だが一體その紅葉山つて何處だらう、秋の國て何處の事だらう』

『何でも世界の西の端だらう、虎行かう、嬉しいなあ、お父さんやお母さんに逢へるぞ』

二人は雲をつかむやうな秋の國の紅葉山を探して寒い秋の夜をトボ〳〵と立出ました

※　※　※　※　※

その翌朝この村境の土橋の上にボロ〳〵な着物を着た可哀想な子供が二人手をつなぎ合つて冷たくなつて死んで居りました。それは多吉と虎藏でありました、二人は父や母の聲を聞き廻り合ふて所謂『ナゾ』が解けたでせうか（なほり）

福澤先生の運動法

明治の大學者として知られて居る福澤諭吉先生は大層健康に注意された人です、先づ朝起きますと直納屋に入つて米搗を致します、あの重い杵を振り上げて米を搗くとは手足の運動になることが大變ですから、自然々々に筋肉が强壯になつたのです、總て運動を致しますには手や足を平均に動かす事が必要です手ばかり動かしたり足ばかり動かしたりすることはなりません、ベースボールの投手が右の手ばかり發達し、郵便集配人は足ばかり發達するやうなものです、之も皆さんは今から充分注意しなければなりません

讀者文藝

▼乘憩君へ　貴方の『二人の力』はよく讀んで見てからでなくては出せません。次號までお待ち下さい

蜜柑

晉川　朝子

山の家にはみかんを作つた畑が一町五段もあります、其みかんを賣りますと、三百圓餘取れます、それ故宅では十月頃にはみかんもぎで大きういそがしうございます、私はみかんもぎも好きですが、たべるのも大すきです、あの黄金のやうな、つや〳〵したかはをむいていただく美味しさ、美味しう御座います、私は食事の後一つか二つたべます、又私の親しいお友達にも差上げます、たまには私の郷里の親類に差上げ致します

▼皆さんへ御注意　毎々申します通り子供ページの文藝はなるべく短かくして貰はなくては困ります、集つて來るものは澤山御座いますがみんな長いのでのせる事が出來ません、どうぞ十五字詰の十二行以內にして下さるやうにお願ひして置きます

國語

仁川　佐藤生

わたくしは先日田舍へ參りまして不馴の朝鮮語で朝鮮人の學校生徒に道を聞きました所が其生徒から『國語で云つて下さい』とやられたのには閉口しました

おもちや

平壤　きく子

お友達の艶子さんが感冒でお亡くなりになりました所が棺へ納める時艶子さんの阿母ァ樣が色々の玩具を棺へ入れて夫を一つ〳〵丁寧に綿でくるんで入れて居られたので伺つて見ましたら直ぐに入れると體が痛むと仰つしやいました

★奉天より

老禿

◆奉天の發展　てふ語は吾曹の久しく耳にせし處にして候も親しく其の現狀に接するは今回を以て嚆矢と致候、左樣……奉天の發展は實に素晴らしきものにて候、即ち大正七年中に於ける諸建築に要したる費額は少くも兎れ二百萬圓てふ莫大なる金額に徵しても其の大略は推察に難からざる儀に有之候。

◆更に明年度　に繼越されたる諸建築妙からずと聞くに及びては再び度膽を貫かれざるを得ず候、加ふるに新に織毛會社の計畫あり製麻會社の實行を見んとするあり其の他次から次へと新企計畫の實現を見んとす蓋し奉天明大正八年度の發展や期して待つべきもの多々有之べくと存候。

◆這回の趨勢　たるや思ふに世界大戰亂の好影響を受けたる內地資本の流入を見たると我が大陸政策の順を追ふて展開し來りたること、而して奉天の天然的位置地勢の然らしめたること是れ等數種の事由原因が內外相呼應して今日の發展を來したるや今更多言を要せざる處なるべく存じ候、此の際

◆講和來の聲　は最早時間の問題となり申候、是れ內地財界と等しく大いに注意を要する點なるべくと存じ候、吾曹八月來內地に於て藥餌に親しむ正に八旬此間多く各方面に接せずと雖も內地財界一般は漸次警戒の歩を進めつゝありしは想見するに難からざりし處にて候、況んや時移り勢ひ變りたる昨今、而して戰亂の齎らしたる好況は戰亂の終息と共に何等かの

◆反動と裏面　とを見するは或は理の當然かと存じ候、只此の反動と裏面の輕重大小深淺の差こそあれ必ず來るべきものと豫期し此に對する策を講じて餘す所なきは軈て第二の發展進歩に資する尤も賢明なる策ならんかと存じ候此の意味に於て奉天の發展著しかりし丈け其れ丈け其の影響を受くる事大なるべきを覺悟するの要あるべくと存候、人或は講和來ると雖も滿洲財界には何等の變動を與へざるのみならず益〻發展の道途を進むべきを稱するものなきにしもあらざるも是は或は一片の議論一場の話題として傾聽に値すべきものにはあらざるなきを保せず存候

◆發展の道程　を辿り進歩の階段を踏みつゝある現滿洲が或は退歩し屈縮する迄には至らずとも一息入れるか足踏みする位の事は少くとも可有之、現に內地海運界は去る八月頃より警戒極めて嚴重其他各般の事業とも漸く戰時氣分を離れ來りつゝありしに徵し更に最近に於ける銀相場の變動等は軈て滿洲財界に多少の影響を齎らさずんば已むべからずと存じ候此の際

◆大陸發展の　策源地を以て自任する奉天の責任は極めて重大なるものなくんばあらずと存候吾曹は此の意味に於て一場の話題一片の議論たる講和來ると雖も滿洲財界には何等の變動を與へざるのみならず益〻發展進歩の道程を辿るのみの實現を庶幾せずんばあらず候

◇仁川便◇

十五日　仁川支局發

築港と陸の設備

當業者より當局へ改善の請願

仁川築港に於ける諸多の施設に就ては尙ほ研究設備すべきもの多きか現在に於て最も困難を感じつゝあるは陸上築港內新道路の泥濘殆んど荷牛車を通ずる能はざるの狀態にあること一つは現在倉庫の三棟にては出入荷物殆んど充滿して揚陸上支障を生ずるが如き有樣あり之等に對しては道路の改善を行ひて荷物運搬の便を講じ或ひは鐵道上屋倉庫を建設して目下不便を感じつゝある急に策應せられん事を當業者は此際關係當局に請願すべしと

廻穀に影響す

例の流行性感冒にて市場殺到の回穀著しく遲延し市場は頗る寂寥の感を免かれず本年は豐作の聲高に不拘今日の如く廻米僅少なる爲め艀操り其他の手違ひを生ずる事あるが遲くとも本月下旬頃よりは相當の廻米あるべしと觀測せられつゝあり而して昨今の廻米遲延は主として地方の流行性感冒に影響したるもの、如く地方農家の感冒に罹はるゝもの多くは殆ど想像以上にして黄海道の如き一村落悉く該病に罹はれ居るものあり之れ等の爲め搬入後の精製出來ず遂に今日の如く廻穀遲延せる者なりと從つて感冒の終熄と共に多少の出廻りはあるべく先づ本月末頃よりは出穀旺盛なるべしと某氏は語れり

思付の慰問袋

普通の物の外に人蔘や粉末を

仁川愛國婦人會委員部には出征陸海軍人に贈るべき慰問袋約二千七百個及び人蔘粉末二千袋の發送方に付き陸海軍兩省に對し委員長より寄贈受附許可方出願中の處十四日指令に接せるを以て同日陸軍の分は龍山倉庫へ海軍の分は吳鎭守府へ向け夫々荷造り發送したり尙ほ仁川に於ては今回慰問袋の寄贈に就ては特に鬼頭兼次郎氏夫人河野竹之助氏夫人淺松太郎氏夫人タウセンド孀子未亡人等多數の寄贈をせられたりと

恩賜救濟金と救助

去る八月十五六兩日に亘る豪雨に際し仁川府花平里等に於ける鮮人部落浸水の爲め一般に少なからざる損害を蒙れるが其內十七戶の罹災民は最も慘狀甚だしきものありて今回京畿道臨時恩賜救濟費中より若干金を支出救助する事に決し道長官の指令到着したるを以て去る十四日仁川府にては府廳樓上に於て右十七名の被救助者に對し夫々交附式を行ひ府尹より一場の訓諭あり松元署長府協議員鮮人有志者等之れに臨席せり

◎白米小賣値

……相場の鈍い精米業者に……

白米小賣商が小賣相場を上ぐべき時に此の際躊躇なく値上げし下ぐべき時に容易に下げず徒らに市民に疑惑を抱かしむるが如き不味い行り方をしてる事は決して歡迎すべき事でない現在の正米相場から推して小賣の相場が高いか安いかと云ふ迄もなく其の甚だしく開きのある事は誰でも認むる處であるが今少しく小賣相場の値下げをしなければ市民は小賣商店に對して不當利得だと云ふ事を躊躇しないであらう今仁川に於ける

◆相場の推移　を調べて現在の小賣値が果して如何に割り出されて居るかを調べてみやう先づ遡つて四十一錢當時の最高値を見るとそれは去る十月八日で當時は正米地相玄米が約三十三圓を唱へてゐたそれから十月廿九日から四十錢に下げたが其時の相場は二十八圓五十錢で商內が行はれてゐた越ゑて十一月二日に三十九錢五厘に値下げを行つたが其は爲數の現象で其日の相場は三十圓見當になつてゐた然るに其後新穀の出廻り期に入つて次第に

◆安氣配と變　じ去る八日頃になると二十八圓七十錢位で地相玄米の手合はせがあつたそこで小賣値は十一月十日から三十八錢となつたのが即ち現在の小賣値である試みに前記の高低と正米の相場とを比較すると當時に於て仁川は正米相場が二十九圓位に比して小賣値は嚴格に支高値にある事が一目して了解せらるゝと云ふ現在に於ける二十八圓餘の正米相場は其間に十四の開きがあり到底精白料を控除して貧白米は三十九錢で賣つてゐる事は出來ないであらうと云ふ疑惑は決して免かれないが之に就て某小賣商店に其の實狀を訊いてみると云ふところに依ると

◆小賣商店て　は決して暴利は貪つて居ない今一等小賣白米を三十八錢五厘で賣つて居るが

◆變らぬ上白　米を得るに困難である處が此の精米所と相當の作業をして居る處に限りて手も廻らぬ賣注文を受けて居る然も相當の値を以て或は內地或は支那と輸出先を有して居るから其の下値を以て市內の小賣商に提供する事を餘り喜ばぬ故に他の精米所よりも品質を選ぶ代りに價格は高いと云ふ事になる從つて之等の精米所と契約して提供を受けつゝある上格の小賣商店では前記の如く一升僅かに五厘の儲けにしか當らぬ而も量り込み或は運搬其他使用人夫賃を控除すれば或は損かも知れぬと云ふ有樣であるさうだ然し乍ら勿論之は

◆一部の商店　で他の小賣商では左樣な事では納まらぬ普通の精米所の提供値は三十六圓位ゐと云ふのだから之を三十八錢五厘で賣つて居れば一升に二錢五厘の儲けを見る勘定となる之等は慥かに餘分の儲けで小賣商店も多少の値下をする義務があるが大體精米所の提供値が頗る高い事になつて居るそれには色々と辯解があり精米料が五十錢と云つても其上罷の副產物があるから精米所で損する氣遣ひはないか或ひは搗き減りが二割と云ひ一割五分と云ふる云ふ辯解は買値が高い當時の買込みであるが何にしても精米業者には知られぬ辯解をして一樣でない事は判る精米業者の儲けは決して少くないらしい小賣白米值下げは先づ精米所に相當の値下げを要求するの餘地がある（仁川）

大邱見物（四）

一貫生

此處にも亦女の像

『オヽッ寒い』と首を縮めて見ても追つ付かぬ、昨日迄は大邱はまだ秋の半ですね、ポプラの半黄半緑なんて、實際綺麗だ、流行の惡性感冒も他所程は盛んではない、何うも氣候が好いからでせう、なんてお世辭やら實際やらを並べて居た連中も、此の朝の寒には閉口したと見ね、馬鹿に氣候が惡いや今朝の寒さなんて、餘り突急だ、オイ此の氣候では、感冒が危險なぜこは大分癪に觸つたものと見ねる、三寒に入つたと見ねて沁みじみ寒い、其れに北風がかなり強く吹く、電話が頻りに掛つて來るので、襟を搔き合しながら出頭に及ぶ、午前には四角張つた會があつた、其が終ると共進會見物に出掛ける、白衣の君子が蟻の群の樣に押し寄せて居る、却々盛んな事だ道長官の御案內とあつて、木戶錢なしで通る、ヘン此の青と赤の徽章が木戶御免だいと胸を突き出して居る人もある、此の徽章で天下こゝ迄は行かぬが、せめて大邱の何處でも木戶御免ならナア、と誰も甘い事を考へる餘裕はなかつた、共進會の入口は大邱へ通り白堊のセセッション式とか何とか云ふ門がある、而して入口手前の左側の小松の苗畝の中には、ロカンが諦み藻になつて白馬が噴場に飛込まんとして居る、此處にも又女の立像がある、妙に女好きの處と見ねて女の像が共進會を飾つて居る、両手を擴げて居るが、成る程讀めたり、門外から走せ込まんとする白馬をどうこい此處で止めると云ふ趣向、とは又妙に感ずつたの、奇想天外より落ち、噴水は女の頭から飛ぶ、飛んだ飛沫に濡ては寒いと着物の防水布ががバ〳〵然と突つ張つて居る、オイ其う感ずつて居ては最う皆が行つて仕舞ふよ。

◎軍人會の事業

◆植林に成功せる忠南◆

在鄕軍人會忠南公州支部の各分會は現今十五分會あり其事業として植林を獎勵し將來は分會に於ける唯一の財源となるべく各分會競うて植樹し既に公州、天安、洪城、瑞山四分會にては國有林を借受け之れに櫟、桐、松等を會員自ら植付其成績稍々見るべきものあり他の分會にありても續々國有林の借受け手續中なりと云ふ猶又兒島憲兵隊司令官は忠南地方に巡視せし際りて親しく分會の植林事業を聽取し之れが事業の擴張を獎勵し且つ金若干を忠南在鄕軍人會に寄贈し又翻つて公州支部長よりも金圓を寄贈したりと依て公州支部に於て目下之れが用途に關し講究中なりと云ふ斯くの如き狀勢なるを以て忠南分會の植林は此處數年を出でずして成功すべしこいふ（公州）

◎慶南は未だく

……晉州……鎭海……馬山……

悲慘なる家庭

晉州地方は例の惡性感冒却々終熄せず愛に悲慘なる物語を止めしは慶南道廳在勤道書記瀬藤亮氏の一家にして夫人は先頃死兒を分娩せしため精神に異狀を呈し憲兵醫院に入院せし所瀬藤氏は其後感冒に罹りて死去し夫妻の間には二人の子供あり遺れる二兒は發狂せる妻女に縋りて日夜悲嘆に暮れ居れり

◇道長官病狀　佐々木慶南道長官も感冒に罹り一時重態とまで傳へられたるも幸ひ森安博士の來診等あり漸次快方に向ひ此分ならば日ならず全癒すべしこいふ

◇死亡者多し　晉州に於ける感冒は其質惡く五日間に內鮮人六十二名の死亡者を出せり（晉州）

◇馬山と鎭海　馬山鎭海とも去月二十日頃より猖獗を極め一時三千名の患者を出せしも死亡せし者は今日迄に僅二名に過ぎず要するに土地の氣候風土が衞生に適し居るものならんと（鎭海）

口靜軒居句會

十一月九日の夕暮、手作りの菊をみて吳れ、そして一杯やらうじやないか、一句やらうじやないか、こんな樣な事から……烏兎、虎耳、魚骨、蘇城、湖東、案山子、十草、山羊子の面々が庵主靜軒を襲ふことになつた。

何が俤みの菊批評、虎耳は徹頭徹尾鷹揚に拙げた、一物ある魚骨は盛に賞めるなんでも彼の話によると、京城一の出來榮だそうな「どうもこの菊は官僚的だ」これは官に仕へて行政を何さやらの烏兎子が短評、此間に賞夜の課題菊、殘菊の詩吟が盛に投ぜられ、行秋になつまされて捨られに、魚骨が一時の熱い正宗がける、選紙が出る、薩摩汁が出る、烏兎の達磨虎耳の行儀に一座さよめいて、醉步漸く退散、庭を出たのは十二時を過ぎて居た。

當夜五選句　山羊記

霜匂や久しく肴りて空地なる	烏兎
銀杏や菊花に小づち打つ冠	同
行秋や魚骨が酒をやめて來る	同
一輪の外に菊なし吹く野草	虎耳
行秋なお鍋の果肴々さ	同
秋なら下駄と靴との埋る香	同
菊咲くや町避けて住む一と構	蘇城
行秋や寺にみなれぬ女あり	同
霜干し里朝の潮風や眼の痛み	湖東
行秋や香いうろにやせ犬の	同
明星の光けはしき霜夜哉	きゆり
なやかに蛍一杯な香る菊	同
霜おきてあたり淋しき我庭よ	三千枝
茶の席に我慾に啓り菊の花	案山子
野菊折らるゝ隊柳手に散らむ	山羊
まづい菊ほめてさりながら酒は甘し	同
霜分けてダリヤの根掘る庭淋し	十草
湖北の人の便りや今朝の霜	魚骨
天下我有に歸し菊の盛なる	同
大輪の庭に冷めたし霜の朝	靜軒
手作りの菊に句なものしけり	同
人の世に風は流行りて秋の暮	同
行秋やぞんでこまでも醉ひでも	同

日報歌壇

圖杯盤樂　瀬津良賢

蹈ふかむ街の柳にむらさきの孤燈よ、しりて君の隠けゆ

うつゝなしあそぶ廓の暮にかゝかの戀

塔の鐘はなりいづ

ほろ醉ひの女の頬を思はする街の夜ぞあかりかな

うす霧に眠りてたかく聳塔の見ゆるも

のびし卿のあかときに遊びあきし心しみじみ町風呂の湯槽に

よりつ朝月を見る

荷川のことにもいたく眼引する醉つき

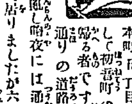
ぬれさ咲つ君かな

時雨降る夜なれば卿のゆきずりに相見し人もしたしまれぬる

こもり樹のしたに時雨の夜をわびて二人ありとも思へばはかなき

▲初冬の歌を募る

讀者の領分



▲私は御夜九時前後本町五丁目を通りまして初音町の自宅に歸る者です諸所通りの道路狹少にして大石小石散亂し雨夜には通行非常に困難を致して居りましたが六日夜から街燈がつく樣になりまして我等の通行上大に便利になりました本欄にて厚く御禮申上げます、又某家の門內に有る街燈は出して如何ですそしたら通行上便利此の上もないと思ひます（電氣靑年）▲郵便事務通の御方に何申します小生數年前より年賀狀等の活字入發物で便を有致し居りますが發利用盛大の昨今裏面を發使用以外に何とか使用の方法は無きものに候哉本欄にて御教示下され度し（一夫）

自活女樣英文タイピストになろこはどうしても高等女學校卒業後一二年專心に英語を御勉強なさいまして東京正則タイピスト學校のタイプライター科を卒業なさいまして始めて廿五圓から七十圓までの俸給になるのですがこれまでになるにはなか〳〵でありますから先づ邦文タイピストに御成り遊ばしてから英語を御研究なさいましては如何ですか邦文タイピストになるには日本タイプライター會社で養成して居ります三箇月卒業で月謝は同社が持つて居ます卒業後の資格は一箇年は會社の指定する會社銀行に勤務する義務があります俸給も十五圓より漸次三十圓にはなります委しい事は御目にかゝつて御話しいたします故御住所御知らせ下さいませ御手紙にて御知らせいたします（或る女）

▲廣告▼

畑一段歩　千圓もあがる

藥草栽培

◎◎庭の片隅からでも大金が儲かる

目下日本政府が奬勵金を下附して盛んに奨勵してる各種藥草の栽培は地方都村の福音である、殊に藥草栽培は物々折れずに巣みが多く然も多大の收入あり中には畑一反歩から一收獲に千圓近くの収金を上げてゐるものもあるそれだから一坪の土地でも利用すればよき副業內職となる殊に人に先んじて之を栽培し種苗を取て賣れば大金が儲かる、又野原に繁茂せる野外藥草でも之を採取して出賣すれば無資本で一ケ月五十圓內外の利益を得ることも出來る。其栽培法、採取法、販賣法等は東京神田表神保町日本藥草研究會發行の藥草栽培法を見るが一番よい同會員には質問應答、藥草共同販賣等の特典もある會則及藥草栽培法見本は同會宛ハガキにて申込み次第進呈する（至急を要す）

小供の病と大人の
てんかん
ヒキツケ
腦神經衰弱其他の病難で困難の方永年御用ひよき良藥あり丸藥一劑で卽効手輕ナル專門良藥あり試みよ切手三錢送れ詳細を無代通知す
名古屋市中區南小川町　救生館

和洋ストーブ
附屬品一式
煙突製作
板硝子
ペイント塗料

ストーブ新荷著

京城本町二丁目
岩見商店
電話貳一參番

モーター（半馬力以上三百馬力迄）
發電機　變壓器　配電盤　諸材料
在庫豐富
株式會社奥村電機商會總代理店
大阪市南區末吉橋通二丁目

ABK
株式會社安部幸兵衛商店大阪支店
機械電氣部
機械工作所
電話長堀　一〇二三四〇〇〇〇〇

製品課目
陸船用汽機、各種喞筒、鑛山用
肥料用諸機械、電氣捲揚機、
一般工作機械、傳導裝置一式

胃病に
ゴルフ
ゴルフはタカヂアスターゼを主藥とせる美味の胃腸藥なり
ゴルフは平生胃腸の惡い人、飲過ぎ喰ひ過ぎの人に驚く程よくきく
定價　貳拾五錢　五拾錢　壹圓參拾錢（徳用）　全國藥店にあり

東京室町
泰昌製藥株式會社

慶北共進會彙報

◇獸醫の大會 既報の如く朝鮮獸醫學會にては今回の慶北共進會の開催を機とし去る十三日午前十時より大邱府樓上に於て大會を開催したるが當日全鮮各地方より來集したる會員は百餘名の多數に上りたり定刻開會と共に野口會長は開會の辭を述べ次いで池井總督府技手より會務並に會計の報告ありたる後講演に移り會員中の十數氏は各自の研究實驗より得たる結果に就き講演を爲し午後四時閉會したるが同夜は上町在鄕軍人分會集會所に於て大懇親會を開催せり、尙同大會に付菊池水原模範場技師及び野口會長並に來賓たる林軍獸醫部長よりも有益なる講話ありたるが一行は翌十四日共進會を觀察したる後漸次退邱する筈なり

◇釜山觀覽團 釜山商業會議所會頭大池忠助氏以下三十餘名の觀覽團は十六日午前十時三十分釜山發同日午後一時十八分大邱著列車にて來邱の筈（大邱）

◎共進會延期か

◆協贊會より正式交渉◆ 慶北共進會も最早後數日を剩すのみとなり日々盛況を極めつゝあるが大邱市中の宿屋料理屋業者間にては會期の延期を熱望して止まず大邱協贊會に對して頻りに懇願する所あり協贊會側にては一時多少異論ありたるも結局

五日間の延期

に內定し直に共進會に對し正式に交渉する事となりたれば多分延期すべく尙右希望者よりは延期に伴なふ諸費用中に金千圓の寄附申込みありたり（大邱）

◎安東縣近事

▲東亞木材披露 資本金三十萬圓を以て今般新に創立されたる東亞木材株式會社は十六日午後六時より料亭すみれに於て官民數十名を招待して披露宴を張るべし

▲久保局長通過 滿鐵京城管理局長久保要藏氏は十二日午後八時四十分發列車にて安東通過大連に赴きたるが永原安東商業會議所副會頭は驛にて木材輸送の件に付陳情する處ありたり

▲周家彥氏南行 中華民國前財政部秘書官農商務議長周家彥氏は十二日午前七時二十分發列車にて當地通過內地へ向へり

▲惡性感冒依然 安東縣の惡性感冒は日本人街に於ては稍下火となりたる觀あるも舊市街の支那人間には依然猖獗を極め日々の死亡數は尠からざる由なり

▲山本木材部長 三井物產木材部部長山本庄太郞氏は十三日午前新義州に下車し午後安東縣に來り一泊の上北方へ向へり

◇小泥棒の橫行◇

兼二浦警察官駐在所が八九月の交銳意博徒浮浪者不良少年の檢擧を嚴密に行ひたる結果一時市井を橫行する小泥棒其の跡を斷ち惡風俗一掃せられたるが追々結氷期に向へるためか小泥棒の徘徊する者多く靴下駄洋傘煙草洗濯物の掻つ浚はるゝ者多し閑話子が昨冬紙上に述べたるが如く取る者が泥棒で取らるゝ者は泥棒の誘因理なきに非ず市民は各自注意を要す

◇鐵相場の下落◇

諸新聞の報によれば客月中旬迄噸五百五十餘圓を唱へし鐵相場は講和の風に吹き捲くられて四百圓臺に暴落し今後續々下落の氣配あり鐵の兼二浦即ち鐵によりて生存する兼二浦居住民には鐵の下落は果して如何に感ずるや

◇補助貨の緩和◇

兼二浦に於ては八九月の交補助貨の大拂底を來したために小商工業者の苦痛甚しく商取引に多大の影響を與へつゝありしが十一月に入り何處より如何にして增加したるにや昨今は補助貨の不足を感ずることなく取引は至極圓滑なるが一面から之れを觀ずれば有難い樣な有難く無い樣な氣分がする

十一月十八日（月）（つちのとみ）
舊十月十五日 [illegible]
六白 油斷して後悔することあり [illegible]

◎仁川消防演習

仁川常備消防隊は十七日日曜を期し秋季演習を行ひ東公園廣場に於て消防點檢を行ふべしと今回は殊に購入に係る水管自動車の竣成廻送ある筈なるを以て之が實地活用の狀況を觀覽せしむべく府協議員學校組合議員商業會議所評議員各官署長並自動車購入寄附者に案内し招待狀を發せるが尙ほ宮町消防詰所の移轉落成式をも同時に擧行の筈なり

兼二浦閑話 一記者

◇成金感冒◇ 一時襲威を逞しうせる成金感冒は兼二浦も世間並に其御見舞を蒙り猖獗を極めし結果彼の世に出錯せる者すら出せしも近時漸く勢ひ減退し一千人以上の患者今や二三百人に減少したるは誠に自他の喜びとするところなり

商況

東京株式日電

十五日前場 十五日の當市場は前場大暴騰ありし後引けは遂に立會を中止せり

	先限引値
東株	二二六、〇〇
同新	一九五、九〇
郵船	一〇四、〇〇
滿鐵 [illegible]	一〇六、五〇
同新 [illegible]	二四三、五〇

東京現株中値

十五日 朝鮮銀行	一五五、〇〇
同新	一七一、〇〇
南滿鐵道	一四八、〇〇
第一新株	一〇四、〇〇
第二新株	六八、〇〇
南滿製糖	二二三、〇〇
朝鮮製粉	二二、〇〇
京城電氣	八一、〇〇
朝鮮瓦斯	五八、〇〇
	二〇、五〇

東京期米特電

十五日後場 先限寄付 三十三圓七十一錢

大阪株式特電

十五日前場寄付は諸株反動的高値を衝出したるが同大引は左記の如くにて前場に比し鐘紡二圓八十錢高商船十錢安郵船一圓四十錢安大株四圓高九圓八十錢高の入報にて相場の變動と商內の大盛況に後場は又々休會となり今十六日は休戰祝賀の爲め臨時立會を休止せり

十五日前場		止め
宇治川水	吾、〇〇	一〇〇、〇
京阪電鐵	吾、〇〇	[illegible]
東洋紡績	吾、〇〇	[illegible]
合同紡績	吾、〇〇	[illegible]
鐘淵紡績	吾、〇〇	[illegible]
同上新株	吾、〇〇	[illegible]
東洋製糖	吾、〇〇	[illegible]
大阪商船	吾、〇〇	[illegible]
同上新株	吾、〇〇	[illegible]
郵船株	吾、〇〇	[illegible]
同上新株	吾、〇〇	[illegible]
東京株式	吾、〇〇	[illegible]
大阪株式	吾、〇〇	[illegible]
堂島米穀	吾、〇〇	[illegible]
同上新株	吾、〇〇	[illegible]

大阪三品特電

	日前場
十一月限	三三四、九〇
十二月限	[illegible]
一月限	[illegible]
二月限	[illegible]
三月限	[illegible]
四月限	[illegible]

大阪期米特電

十五日後場 先限寄付 三十三圓二十二錢 六節 [illegible]

兵庫期米特電

十五日後場 先限寄付 三三、五〇 止め 三三、[illegible]

下關期米特電

十六日前場 晴各地休戰祝賀會の爲め臨時休會を報じ當市場氣乘薄閑散なるも人氣押目買

	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	三三、究
高値	[illegible]	[illegible]	三三、七
安値	[illegible]	[illegible]	三三、究
止め	[illegible]	[illegible]	三三、七

雜報

●鐵材一齊下落 十四日八幡製鐵所に執行されたる製鐵材三千噸の第十回公入札は時機が恰も休戰決定後の事とて斯界一般に興味を以て注目したるが入札の結果は棒鐵二百三十圓より三百五十圓迄綱板二百八十圓より七百四圓迄鐵二百三十圓より三百十五圓迄にて豫期せらるゝ如く前回に比し約二割第一回の落札値段に比し約四割乃至五割方の安値を示し休戰影響を具體化せられたるものとて斯界一般の相場を一層低落せしむべく而も同入札が近來の鐵材相場の標準とせられ居るだけに今後の市場は之れが爲め尠からざる動搖を免かれざるべく鐵材も從つて當

●丸鐵角鐵十圓乃至十五圓方低落 し其結果は三分丸四分丸百四十圓六分角百八十圓見當に下れり鐵板薄物も十圓以上の低落にて煙筒用一枚に付三十一圓八十錢と小厚板は二十三圓方の暴落にて眼先尙續いて安模樣なり 一歩厚の如き一層下げの程度甚しく

●洋釘は下落 內地高の餘影を受けて細物品體は二十一時半より十四時半に二十一圓五十錢方下押し一圓十錢下押し太物も更に五十錢乃至一圓五十錢方下落して四時の如きも十七圓となれり

●平板下押す 板戲は安と休戰影響によい便に氣配押し三十番十錢安四十番は二十錢乃至三十錢方下押し [illegible]

●正米小高し 米は相場の薄い割に少なきを見て米穀筋も必需品を買進め [illegible]

●糯は眼先混沌 糯は昨今出廻り少なく當業者も見當がつかず何處も手控へ [illegible] 見當合み持へなり 約二十錢高

●支那粟持合 支那粟は未だ新物の輸入なしと雖も荷の澁滯なると一般荷動きの渉々しからざるが爲め上物弗々

●胡麻と蕎麥 胡麻は品薄と買進みに過般來約一圓五十錢方の品騰を示し此處三十一圓處の唱へにて [illegible] 輸入後の影響を豫定なれば其先弱合 多少みに廻りの稀薄と買進みに依り [illegible] 十圓近かく 暴騰 にて向は二十七圓見當さ高値に上れり

●硫安相場波瀾 講和接近の聲に漸落を餘儀なくされ來りし肥料市場は休戰條約調印戰到來と共に各定期の反騰を容れて素人筋の賣崩みに所謂浮れ相場を出し十三日硫安內地相場は二百九十圓と一躍に四十圓高に突飛し豆粕は四圓五十錢と三十錢高硝石は二百十五圓と十圓高を唱へ出したるも週に至り漸安かに五圓方下押に綿綿及び株米安に伴れて著しく氣配が損じたるが石の他一齊に總べて一時の相場なき人氣より出でしものなるだけに目先き一段の低落は餘儀なかるべき狀勢を呈せり

下關相場

▲朝鮮米も不引立 其後玄米六百石白米千六百七十叺等の輸入ありしが失張大抵先約定物の受渡しなると舊中も商日期米高の影響をして各地とも幾分高報なる傳へたるも何分大豊の折柄とて此際に相場人の現はれざる爲め市況引れ立たず

▲大豆は手堅し 本品は引續き相當に出廻りあるも別に買進む商人も又現はれざると共に格別市況活氣を呈するに至らずされども何分今後の輸送難を加へて堅實に依り [illegible] 手筋に宜川物五百叺等は十九圓三十錢に手合せ行はれ出來値は左の通りにて入著したる八叺京城產三百十八叺等也 小豆は格別變らず 本日も北

▲朝鮮一等白米 四十一圓五十錢 ▲金山新太豆 二十一圓二十錢 ▲同 [illegible] ▲ポアン大豆 二十九圓三十錢 ▲同 [illegible] ▲宜川大豆銀口 十九圓七十錢 ▲元山大豆 十九圓八十錢

●肥料の現況 豆粕は前週の下落以來依然豆粕の人氣不良なる中も其他の米傳も相變らず不向きの商情にある杯各地の人氣不勢と共に一向捗々しき注文入り來らずして買人の見送り居る爲め自然活況なく然れども何分買物多からぬと產地も相當手堅き情報にある杯各手持筋の安くは手放し兼ねるといふ程にあらず▲糠は內地物百七十六俵の廻著のみなるも是又買氣進まずして市況不立也

各地商況

◎木浦米況（十四日） 大阪定期又々反動安らしく低落せるも大阪正米よりの買注文依然殆りに面白からず加へて當地品物の爲め移出筋が動かず朝鮮米取引もきもの行はれず雨の爲め廻著なく一般に出廻り待ちの態三等玄二十三圓處を保合ひ居れり
▲糧 降雨の爲め入荷なく取引無し 同出廻待ちの姿なり

釜山物殻市場 十五日

▲新米保合 昨日は一昨夕方來の商況現出せんとの氣構へありて一般米主側の買氣强ふる欠先き內地期米も高値を報ぜると當

仁川正米

▲籾の入津少なく氣配は入荷に從つて八錢四五錢方唱へ居れり ▲正米は入るも高値は精米筋の見越み依り居る振り合なるが何分にも入津少なく買の端境狀態を出現し居れりとの事

▲玄米 久しく新米に牽制されて新米百丁の沸騰を喘すこにて、味を持さ本の米騰に至り一己限の如く此際は三新市場にも高値商狀なり項新米界の成せる本品界も昨日一已の一般に保合商狀なりしより從つて本品も變らず保合商狀なりしが寳行の割合に市況狂はず先づ保合の値にて五千六七百個程の大口商內出來せり

生魚市場

◉京城日丸市場 一般に入荷多からず、たい四ちぬすい二八ひらす三〇ひらめ二五かれ二五かなご一八さば一四くるまえび一五〇めばる一八にべ二〇たゆ三〇甲いか二四〇さけ一七〇

仁川期米

十六日前場（底强し）

第一節 大阪休戰祝賀にて休會東京兵庫未著にて當地當限出來不申二十七圓五十錢より七錢

十七錢乃至八錢安

先二十六圓九十錢安

寄付きたるも買物多く忽ち七圓○二錢を跳ね返したるが戾りは賣物多くて七圓丁度と押し〇二錢と大保戰を演じて引けたり

依然保合の裡に底强き成行 なしと示して早引

第二節 當中出來不申先〇二錢より三錢と跳ね一錢と返り二錢と

▲後場休會

前場當限出來不申中限二十七圓五十錢平均先限二十六圓九十七錢二十六錢二十七圓メ一錢二錢二十七圓メ一錢三錢二十七圓メ二錢三錢二錢一錢二錢跳早引の爲め商內なし

市場雜觀

▲昨後場は大阪前場一節三十二圓九十九錢三節七圓○一錢四節六圓九十五錢節九十六錢六節九十五錢東京跡六十一錢七十一錢七十錢六十二錢跡三十九錢下の報兵庫中出來不申先二十八圓九十五錢二節二十六圓九十九錢買物多く七圓○二錢と上げしが戾りは又賣物現はれ六圓九十九錢と押し更に七圓○二錢と上伸せしも大保戰裡に二節當中先一節に遊

仁川米取引所

十六日の一月限

	前場 寄付	高値	安値
	二十七圓九十七錢	二十七圓メ二錢	二十七圓メ二錢

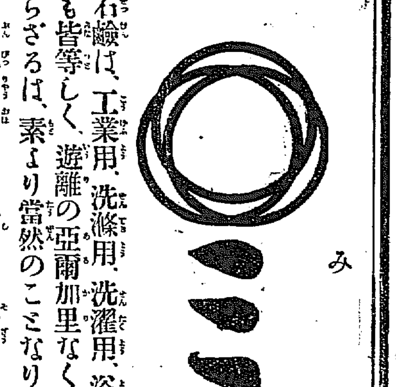
段値	平均	出來高
十一月	二七、四一	前日比 二錢高
十二月	二七、〇〇九	七錢安
	[illegible]	五錢高

白米標準値

三十七圓

北濱たより

▲商船翔鳥賣る 商船に金力を注ぎて買方針を採り來れる加島氏は十三日の如き市場へ出場して相手の商いに任かせて商船の新舊株を賣捲くったのであるが之が爲め上せた株の逆進が阻止せられたには相違ないけれども人氣が買ひに傾き來つた丈けに此の打撃は小さくないので恰も新株で發展を示し難かつたのであるが彼れ丈けの人氣の中で挽取りの賣りしたるから此の商賣は最も愛に乘じて居るのであるだけに相當の利けれども大體が强氣の人で相當に負けて居るかは疑問であるから此上向は加島氏の手が出るとは思へぬ所であるが新たに相場を作るかどうかといふ事は今一寸見当がつかぬといふ所である



◎ミツワ石鹼

凡そ石鹼は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用、化粧用等、各用途に從つて其の種類を異にすと雖ども而かも皆等しく、遊離の亞爾加里なく、遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹼たらざるべからざるは、素より當然のことなりとす。

皮脂の分泌量多くして而かも粗造なる本邦人の皮膚及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て其適否を論ず可らず

◎ミツワ石鹼

は化學上の純石鹼たるのみならず尙左の性狀を具備す

一、原料を精選し、脂肪に香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ゐず。

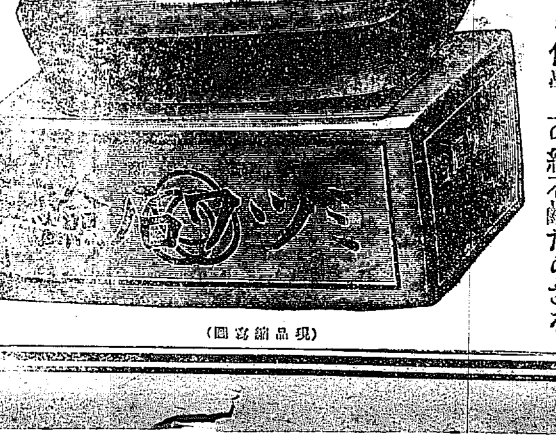
一、温雅の芳香を有す。

一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて、半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし。

故に、一般の家庭に於ける浴室、化粧用として、衛生に適ひ、經濟に合する。理想的實用品なり

種類		
大形	金	武拾五
中形	金	拾八
小形	金	拾五
極小形	金	拾
水石鹼	金	四拾五

內地以外は關稅運賃を加ふ



（現品縮寫圖）

本舖
ミツワ家庭藥
ミツワ規那鐵葡萄酒
ミツワ人參葡萄酒
肝油ドロップス
御園化粧品
發賣元
商標登錄
東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香料品、小間物問屋
丸見屋商店
電信略號◎ミヤ 振替口座東京七一〇番
營業部電話浪花三〇四八・四四九・四九〇番

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .50 / 500 tablets ¥ 2.00
This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only it improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

◎ミツワ人參錠

人參を科學的に研究して之を錠劑とせる

主効 神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、老衰、榮養不良、精力減退

本劑は鎭靜、催眠、利尿、健胃、强壯等の諸作用を具ふるものにして其偉淸的効用の大要を擧ぐれば、神經衰弱、情調異常、意志薄弱、讀書計算不能、思考力判斷力記憶力減退、睡眠不安、消化不良、心悸亢進、手足厥冷、遺精陰痿等に對して偉効を呈し、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血の如き諸症を治し得べく、之を急性並に慢性腎臟炎に適用すれば、尿異常、浮腫、其他の苦惱を除き、分泌を前後系疾患及び結核、癌腫、梅毒、神經病、胃腸病、子宮病、諸種傳染病等に因る貧血並に榮養不良を回復して蒼白なりし皮膚をして强壯なる血色に變せしめ、體力を增進し、又精力減退を卽ち精神の困憊並に筋肉の疲勞を癒し、頭腦を明晰にし、意氣を旺盛ならしめ、老衰の諸因を去る等の卓効を奏す。

定價 百錠入 金五十錢 五百錠入 金二圓
內地以外は關稅運賃を加ふ

適應諸症
一、頭が重く或は頭內が鈍痛する人
一、眠の疲れ易い人
一、逆上せて茫乎となる人
一、眠らうとしても眠れぬ人
一、睡れて困い夢を見る人
一、些細の事を氣に懸ける人
一、何事にも怒り易い人
一、悲しい事も無いに泣きたい人
一、精神の憂鬱する人
一、何事も悲觀して厭世的になる人
一、物事を深く考へることの出來ぬ人
一、物事の理非判斷の出來ぬ人
一、物事の記憶の不良い人
一、雜念頻りに起り集注の出來ぬ人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、血の道に惱む人
一、陰萎や遺精に悲觀する人
一、腎臟病に罹む人
一、産前産後又病後の衰弱を防ぎたい人
一、勉强をして疲れ易い人
一、勞働をして疲れる人
一、精神の疲勞を早く治したい人

（現品縮寫圖）

汽車發着 京釜線（南行）（北行） 京義線（北行）（南行） 湖南線（南行）（北行） 京仁線（仁川行）（京城行） 京元線（元山行）（南行） 兼二浦支線 [illegible]

京城日報

[illegible]大橋の[illegible]
▲獨逸側橋頭を意味し、更に同項の『ライン右岸に於て』[illegible]
軍艦は最有力なる[illegible]（二萬八千[illegible]
[illegible]艇全部を入るゝこと不可能なるべく、中立國に於ても亦之を好まざるべく、多分英佛何れかの地點に[illegible]の潛水艇は武裝の儘之れ又英國[illegible]くは聯合國の港灣に集中せしめ約四十隻は監視にて決定すべきが潛水艇百六十隻は武裝解除を行ひ聯合國に於て沒收自由處分を行ふ

東京便り

十一月十二日東京發

◇果然獨逸皇帝の退位は事實こなり、バイエルン及びザクセンの國王亦其の位を退き候。これ露國の[illegible]に次ける第二の悲劇也。恐らく今次の世界大戰を記錄すべき最大の歷史的事實たるべく候。

◇聰明なる識者は既に内外新聞に依り獨逸崩壞の顛末を詳にし、周到適切なる批判、有益なる意見を下されたる事と存候、故に拙者は徒らしき註釋や說明を加へず、たゞ日本及日本國民として、獨逸の前途を如何に觀察すべきかに付、二三國の觀察を列記し、識者の高敎を仰がんと欲し候

◇第一は獨逸は果して戰爭に失敗せるや否やに在り。尊敬すべき軍事專門家の講評に隨へば、最近西部戰線の撤退は、全然戰略的退却にして、敗走せるものにあらず、[illegible]切なる退却振りは、[illegible]軍隊の戰鬪力は[illegible]べきもの多しこの[illegible]るは勿論、國軍の士[illegible]統帥、作戰能力等を推斷し來れば、獨逸軍隊は尚一定の彈力を留有せりと認めざる能はざる由にこれ有り候

◇第二は獨逸皇帝、將來如何に候、帝は退位に際し宣して曰く『朕の退位は獨逸の爲めなり』と、帝は今日迄獨逸の爲め其の位に居り、今回獨逸の爲め其位を退きたるものに候、然らば將來帝が再び獨逸の爲め更に大々的復辟を試みる事無きや否や、此の一事は一面帝の性格を察し、他面獨逸國民中尚帝室に贊同少なからざる事實に鑑み、特に[illegible]なる觀察の要ある所以に候、乃ち今回の退位を以てフリードリヒ、ウイルヘルム二世の最後の幕を止めたりとするは、聊か皮相の見たるを免かれず候

◇第三は獨逸の國家組織如何の問題に候。蓋し獨帝の退位は、議會等の機關に依り、未だ正式の議決を經たるものにあらず、又新共和國建設の爲めには尚更重要の順序を經ざるべからず候。獨逸國民は一時の社會的變象の爲めに其の國家を破壞し去るが如き愚なる國民にあらず、既に軍隊の戰略的退却を行へる獨逸の指導者は、時局拾收の目的を達すべく、更に如何なる政略を廻らすやも知れず候。故に獨帝の退位と獨逸將來の國家組織とは、全然別個の問題として考察せざるべからず候。

◇推ふに普佛戰爭以前の獨逸民族が、如何に悲痛の境遇に在りたるかは、現代獨逸人の痛切に熟知する所に候、彼等は當時の聯邦が群邦分立して互に嫉視排擠し、其の間統一せず强大國の隣邦[illegible]の結果たるを知り、又獨逸由來の興隆が一大帝國の建設に依り、聯邦一致協力して國力の充實を圖れる結果たるを理解するものに候、隨つて彼等は肯び好んで小弱國民の悲慘なる運命に歡迎せし、これ獨逸將來の國家組織を察すべきに方り、何人も看過すべからざる所以の的に之れ有り候

◇第四は獨逸の社會問題、勞兵會が、露國の夫と同日に談ずべきや否やに候。ヒンデンブルグ元帥が自己及び麾下の軍隊を民衆政府の任意處分に提供したる言に曰く、『これ國家の混亂を避けんが爲めなり』と、以て彼等が如何に其の同胞を信任し、又國家を匡救すべく如何に大膽にして淡白なるかを想見すべく候。最近シャイデマン、リープクネヒト一派の行藏稍極端に傾けるの觀ありと雖もレニン、トロツキーの輩と其の選を異にし、國家の組織を容認し、社會の秩序を尊重する、蓋し思ひ半ばに過ぐるものこれあり候。若し彼等が獨逸を崩壞して第二の露國たらしむべく、其の勢力を振へりと思はゞ大なる見當違ひに陷らん、彼等は獨逸人特有の組織能力を發揮し、以て極力新社會の建設に奮鬪するものと見ざるべからず候

◇以上は獨逸問題の要點のみ、若し仔細に考察せば、或は獨逸文化、資より或は其の國民性より、或は其の經濟的力より、幾多研究すべき餘地あるを信ぜずんばあらず候、當面一時の變象に捉へ、獨逸の運命終れりと做すは、甚だ輕率の見解也、吾人は獨逸の將來尚容易に侮り難きを忘るゝ能はず候

◇吾人は少しく獨逸を賞し過ぎたりとの非難を被らん、然れども如何に敵國と雖も、之を侮蔑し惡罵するを知りて、其の特長實質を究めざるは、眞に識慮ある大國民と稱する能はず候。吾人は敵國の眞價を知り、同時に自國の實力を檢せざるべからず、記者が獨逸の將來を推し、識者の注意を喚起せるは、益我が聯合國の注意警戒を促さんが爲めに外ならず候

講和來と雜感

市川オフセット印刷會社取締役廣江澤次郎氏談

入京中の大阪市川オフセット印刷株式會社取締役廣江氏の談左の如し

經濟的世界戰の烟幕

愈々休戰條約調印濟と獨帝蒙塵の飛報が來た、敵も味方も待焦れた平和の近づきたるは眞に慶祝に堪へないが、併し是が國際貿易戰の始の烟幕であり而も武力戰が主として歐羅巴を中心としたるに反し、今度は吾亞細亞を主なる舞臺とするかを思へば我々の精神も一層緊張せざるを得ない、私は此頃中大阪に居たが大阪商人等の戰後の貿易戰に對する覺悟は[illegible]積極的である、何處迄も伸張したる吾商權の領域堅守の意氣込で、其活動振りは實に目覺しき者である、隨つて講和來る其急轉直下の不景氣の襲來に委する事は當分絕對に有るまいと云ふ有識階級の一致した意見も成程と首肯される、私は一般が近來上下、浮々たる戰爭氣分を脫し着實なる勇猛心を喚起した事を喜ぶべき現象と謂はざるを得ない

本年度の正貨受入七億圓

輸出を奬勵するは貿易の大本にして國富を增進するの根柢である、めねばならぬ、幸ひ官の獎勵と民の奮起は、益日本の貿易を順調ならしめ、本年一月以降年末迄の輸出超過額は二億圓に上り、是に運賃收入、船鐵交換、船舶提供等の國際收入を合算すれば本年度の正貨受入高は先づ七億圓以上と觀測せられて居る、此盛況を聞くだけでも國民として大いに喜ばねばならぬと思ふ

日本國民たる無上の光榮

私は元來日本人感謝論者であるが、私共の如く至仁至慈にして至强大なる政府を上に戴き、此聖明に生活するの幸福を有せざる隣境の諸邦や歐洲の戰禍の巷に漂泊ふ人々はドウであらうか、私共は先づ以て日本人として肩身廣く世渡りの出來る事を喜びたい、哀れ程多くの同胞の内には實際不幸の深淵に陷つて泣く人も有るであらうが彼らに生活難の聲に附和雷同して自己が日本人たるの光榮を忘るゝ事はせぬか、私は境遇の順逆に拘る、可愛相な啞つた思想の人も出ず先づ日本人たるの誇を感謝し愉快なる純良なる思想の下に益々國家の興隆を圖らねばならぬ、過般偶々不祥事を生じたる原因に行き一層此感を深くした次第である

人物排底の歎聲頻々

智識階級の戰後の經濟觀の結論は最後が人と云ふ問題に歸着して居るが大人物は別として到る處で近頃使用人の間に合はぬので困ると云ふ歎聲を頻々聞くは誠に寒心である、何の爲に五年十年の苦心の辛苦を積むのであらうか、モウ少し實用的人物の養成を時代は痛切に要求して居るのである

手許の滿足に役ける人
變文通信の出來る人
商賣の道に精しき人
信頼するに足る人

右の内其一に該當する人あれば、月給は相當支給するが心當りはなきやと各友人から頼まれた程人物排底である、多くの人の有ながら用ひるに足る人の尠なきは何たる情なき事であらうか、私は特に今學びの園に有る諸君に自省自覺を要望するのである、手紙を自由に書く位の事は勿論將來の日本人は英支露三箇國位の言葉は自由に操りて活動能率の增進を圖り益商圈の伸張と國權の發暢を期せねばなるまい

本紙定價 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城日報社 [illegible]

肯いた代議士團

戰線を視察して

某國か彌勘に屬するが出征軍慰問のため浦鹽からチタ、イルクーツク等を飛脚旅行した、代議士十個一行は到る處で、皮肉な眼を光らして歩いた、一行が後貝加爾州に入つて、形勢を觀ると、浦鹽や哈爾賓方面では、聯合與國との關係上、餘り頭の上らぬ日本も後貝加爾に入ると、獨り舞臺なので、始めて出兵が有難くなり、歸りがけには稍や熱心な出兵論者となつたが、一行中の某氏の如き、非戰水貝加爾博士を夢想家だなど、冷かしたが、今度こそ貝加爾以西を視察して、始めて貝加爾博士の卓見に驚いたさうな、一行はチタに於てセミヨノフ大佐と會見したが、其會見に於てセミヨノフ大佐の人格に抱負に悉く感心し、飽くまでも彼を援けたいと逆襲を逞らしたさうであるが、通り一遍の視察や調査で天下國家を論ずる代議士團が後貝加爾州に於ける、日本の勢力と、セミヨノフ乙軍の勢力とに纏む機微の消息を察して大胸きに消きつゝ、歸つたと言ふから、國民は幸遣の小貝加爾博士の氣焰に捲かれる事であらうと、チタ邊では噂が高い（早川從軍記者）

通俗講演會

梵語研究の爲日蓮宗本山より印度カルカッタに派遣せられ前後四ケ年間同地に滯在せし日蓮宗大學教授岡教邃師の入京を機とし同師の講演會を開催す傍聽隨意

一時日、十七日（日曜日）午後二時より
一塲所、日の出小學校
一演題、現代に於ける印度の事情

京城日報社

秋郊散策　高田 小芥

坐思野色出柴扉。門外梧桐黃葉飛。新雁似詩蘆荻宿。初霜未染薜蘿衣。水淸溪上群牛涉。煙布山陰獨鳥歸。稻稔秋光停杖望。黃雲滿地夕陽微。

學窓曰、信手拈來、見意境之巧、即給。

[illegible]　小永井槐陰

[illegible]皎月冷風浸露華。蘿邊[illegible]紛絲車。[illegible]中少婦還猶上。[illegible]到更闌幾歎哦。

江宮月夜　河島 五山

學窓曰、讀者亦謙曉、

枌畔小亭伴客遊。間來一笑伴吟肩。金風拂檻珠簾動。秋色過江溝倚樓。渡煙先迎天上月。攜觴且酌酒中仙。波間遊艇見魚躍。

悲秋　田淵 柔州

學窓曰、淸窓偶然、神情欲睡、

庭前落葉半辭枝。籬畔鳴蟲聲已哀。獨坐無端思故國。秋風吹冷發遊詩。

悲秋　大石 松逕

學窓曰、情景并得、最見悲痍、

枕上蛩鳴夢易殘。紛紛落葉不堪傷。宵深泥也如呼我。醉醒腰燈古撲晴。

學窓曰、沒傷之至。

邂逅

佐々木峰雪

五十一　毒藥（六）

『うむ』廣岡醫學士は胸を抑へて居た手を引いて、斯う太く叫んで頷いた。

『こりや森井さん一通りの病氣ぢやありませんぞ』

『えツ、一通りの病氣ぢや無いと云ふこと』

『さ、あまり大きくは云へ無いがこの裏面には恐るべき或者が潛んで居ります、わたしは貴下の御令兒の御家庭の容子を知つて居るだけに此裏面はすつかり讀めました恐るべきものですな』

『ぢやあの』と庄五郎ははじめて解つたらしう『菓子が中毒たのですな』

『さうです』と力ある聲で『その殘りのお菓子を此處へ出して見なさい、わたしが今成程と合點の行くやうに御覽に入れませう』

廣岡醫學士は、庄五郎の手から殘りの菓子を受け取つて、盃の一つに粉に碎いて入れて、それに少量の酒を注いだ、と見る〳〵泡立つて一條の淡い煙のやうな瓦斯が登つた。

『まアこれは』と庄五郎や吉兵衞の驚くのを見て

『これを御覽なさい、酒だからまだそれ程でも無いが、一旦これが胃腑に逢へば、强烈なる揮發瓦斯を發生して、あの通り臟腑が溶けてしまふのです、もう不憫さうですが半日間を待たずして、あの子は血を吐いて死にます』

『わツ』と一同は呆れて無言であつた。

庄造はかく〳〵と白を青させながら、斷末魔の苦しみに悶えた。

『庄ちやん苦しいだらう、わたしがあのお菓子を換へてごつこ云はないでゐたら、庄ちやんこんな目に逢やしないのに、わたし惡いんです堪忍して下さいよ』

庄吉は庄造の手を取つて泣いた

『これ兄ちやんの手』と哀れな聲で云つて、庄吉の手を自分の頰へ當てた。

『全くわたしお菓子換へなかつたらよかつたに、庄ちやん堪忍して下さいよ』

庄吉は今更のやうに泣き入つた『兄ちやん』と泣き聲を出いて『僕死ぬる途手を握つて頂戴よ、僕淋しいからね』

『だつて僕死ぬるんだもの』其聲は微よりも細い〳〵哀れな音であつた。

『さうです森井さん、お察しなさい、與へられた菓子を交換した爲に庄造さんの方が殘れるんです、恐ろしいのは人間の心の中ですな』と醫學士はお里の方を見た

お里は死人のやうな蒼い顏になつて慄へて居た。

『あゝ』と庄五郎は歎息して『廣岡さんよく何にも分かりました、我愛兒の爲めに計つたことが、反つて、我愛兒を殺すことになつたんです、恐ろしい心です、鬼よりも蛇よりも、もつと〳〵恐ろしい心ですな』庄五郎はじろりとお里を睨み付けて斯う云つた。

『世の中に人を呪へば穴二つといふ諺もあります、がもう取り返しは付きません、然しこれを表沙汰にしては却つて宜敷くあるまい、なるべく穩かにした方が御令兒の御名も出ないし、又こんな恐ろしい事を敢てしたお方の名も出ないで濟む、兎に角これは森井さん穩かに治めるやうにするが肝腎ですよ』

廣岡醫學士は云ひ殘して用意の俥で歸つた。

庄五郎の胸は火と燃た、如何に自分の子が可愛いとは云へ、義理の我子を殺さうと謀つたお染、然も三百年も以前に行はれたやうな毒藥を菓子に盛ると云ふ、見下げ果てたお染の仕打ちに、矢も楯もたまらぬ程に憤然に燃た。

『眞成にお染は惡魔ぢや』と心に思ふと、其手先に使はれたお里迄が憎うなつて、一裂きに引裂いてもやり度うなつた。

『惡魔』と思はず口へ出た。

途に自動車が一臺飛ぶやうにして走つて來た。

株券交付公告

當會社增資新株券出來致候ニ付本月二十六日ヨリ當本店ニ於テ第壹回拂込金領收證ト引替ニ御交付可致候也
追テ右領收證裏面ヘハ當會社ヘ御提出ノ印章御押捺ノ事

大正七年拾壹月
東京市麴町區有樂町二丁目一番地
東洋拓殖株式會社

入流行の本場
大嶋がすり月賦販賣
現品引替に半金御支拂下され候はゞ直ちに品引替にて殘金四ケ月拂月賦にて販賣仕る可く候
ハガキにて御申込下され候次第柄見本入規約書進呈仕候但し壹千反限りに付即時御申越下され度し
東京市本郷區天神町一ノ六（電話下谷七二〇二番）
大島がすり專賣所

▲戰勝公債ニ應募セヨ
佛國四分利 額面百法ハ 邦貨金卅三圓六十錢ノ割
永久 公債 同五百法ハ 邦貨金百十八圓ノ割
條件 [illegible]
利廻 〇〇十年後 約七朱[illegible] 約一割八分〇五年後 約一割
[illegible]佛國政府指定
[illegible]日佛銀行東京支店

運勢判定術 通信教授 安全の好職業
確實 月收七八十圓以上
[illegible]

大陸の京城
阿部辰之助著
[illegible]第一章は京城の沿革及氣候 第二章府稅の課率及營業、兵籍等の願屆書式及府民に必要なる事項▲第三章學校組合及各學校の狀態及入學の手續▲第四章神社と宗敎の區別及各宗敎の狀態▲第五章京城商業會議所▲第六章京城に於ける輸移出入貨物及關稅▲第七章道路、交通、及漢江沿岸各地の水運、鐵道貨物の運賃並貨物集散の狀態、通信機關（郵便、爲替、貯金、電信電話）各事項▲第八章[illegible]及[illegible]業に關する狀態と願屆書式▲第九章各銀行狀態▲第十章各會社の營業狀態▲第十一章各商業の狀態及重立たる商店▲第十二章各種工業の狀態▲第十三章土木建築▲第十四章鑛山[illegible]▲第十五章鐵道運輸通關手續▲第十六章仲介を目的とする營業の狀態▲第十七章交通、金融其他▲第十八章新聞雜誌各興信所▲第十九章[illegible]等を通じて必須の好參考書たり
發賣元 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

祝四千號

防寒用
帽子
メリヤス
毛布
羽根蒲團
膝掛
エリ巻
シヨール
眞綿製品

京城出張所
京城本町
電一三六番

新柄
ワイシヤツ
チヨツキ
オーバースエッター
ネクタイ
洋服附屬品

東京神田
塚谷洋品店

◇伯林市街戰 又も

十一日伯林にて戰闘起れり主馬寮にて士官等新に抵抗し又ウンターデン、リンデンにては革命軍機關銃を用ひ多數の死者を出せり（アムステルダム電報）

◇獨國民議會主張

國民議會は獨逸新墺太利を獨逸共逸國の一部なりと宣言せり（紐育電報）

◇獨舊政府員と實權

獨逸にては舊政府の官吏依然其職にあり政府亦然りゾルフは外相として聯合國に通牒を發し陸相亦依然其職にありヒンデンブルグも猶の如く最高司令權を握り居れり（巴里電報）

◇獨在外使臣に嚴命

現社會黨獨逸政府は獨逸の統一を維持するに努め居るもの、如く在外使臣に對し爾後獨逸國家の名にて行動す可きを嚴命せるもの、如く又外相ゾルフ、陸相ショイヒ、海相ホフマンは前政府以來依然留任し居れり（巴里電報）

◇前獨帝の永住地

前獨帝はコルフユー島に永久的居住を定めんと計畫しつゝあり（紐育電報）

◇前獨帝避難反對

英佛にては前獨帝が和蘭に永久的避難所を有せんとするに對し反對高まれり半官的意見に據れば斯く獨逸國境に近き處に居らしむるは策の得たるものに非ずと（紐育電報）

◇獨逸へ食糧供給

ウィルソン大統領は獨逸に於て秩序保たれ食糧分配の公平を保障さるゝに於ては直ちに獨逸に對する食糧供給の處置を執る可き事を通告せり（紐育電報）

◇英艦隊キール運河へ

英國艦隊の一部は掃海を爲したる後キール運河に入れり

▲附記 キール運河は獨逸波羅的海艦隊根據地キール軍港よりエルベ河口に通じカイゼル、ウイルヘルム運河と稱し、エルベ河全長七百廿哩、沿岸には伯林、漢堡、マグデブルグ、ライプチヒ、ドレスデン等の要都あり

◇地雷爆發を警告

獨軍はオステンドの地雷火爆發を聯合軍に警告せり（紐育電報）

◇瑞西勞働者不穩

瑞西全國を通じ勞働者は著しく不穩の狀に有り一般的同盟罷業行はれ軍隊召集せられたり（倫敦電報）

◇倫敦市民の熱狂

十三日夜は市民の熱狂未曾有にして各劇場音樂堂にては燦爛として電光輝き狂喜せる市民の渦は到る處に捲返しバッキンガム宮殿前には皇帝の出御を絶叫する市民の聲に連れ陛下は屢々露臺に出でられ湧き渡る群衆の歡呼を受けさせられたり（倫敦電報）

◇支那講和副使

十五日閣議に於て歐洲講和會議列席の副使は在歐の支那公使中より任命する事に決定せり（北京特電）

◇各督軍和平贊同

來京中の督軍代表各省總長等三十三名は十五日午前十時總統府に參集し錢總理より南方首領の和平に意ある事等を說明し倪嗣冲、曹氏等より質問あり結局多數は和平解決に贊同の意を表し左の決議を爲せり（北京特電）

、各督軍は一致して中央の命に服從する事に決議す

◎米今後の產業方針

餘裕を生ずべきを以て是等は內地一般需用及び外國輸出の爲め適當に[illegible]を圖るに努力すべし本件に[illegible]

◇原首相伏奏

原首相は十六日午前七時上野發沼木町大本營に赴き 天機を奉伺し內外重要政務を伏奏せり（東京特電）

◇寺內伯微恙

上京せる寺內伯は數日來宿痾の糖尿病の爲め主治醫の勸告に由り皆訪客の面會を謝絶して靜養中なるも決して憂慮す可き容態に非ず十二日は後藤男の見舞を受け會談したるが十三日の外交調査委員會には豫て出席の筈なりしも醫師の勸めに由り之を見合せたり（東京特電）

□皇室典範增補奉告の儀

聖上陛下には既報の如く皇室典範增補制定せらる可きを以て來る二十八日賢所皇靈殿神殿にて奉告の儀を行はせらる、ご同時に神宮、神武天皇山陵、明治天皇山陵に於る奉幣の儀を御舉行あらせらるゝに就き二十五日宮中鳳凰間にて勅使發遣の儀を行はせられ 陛下出御勅語あらせらる可しと洩れ承はる（東京電）

◎法官移動期

司法省にては目下判檢事登用第二回試驗施行中なるが更に本年度施行の第一回判檢事辯護士登用試驗も來る十八日より口述試驗を開始する筈なるを以て此兩度の試驗により約百名の判檢事を得る次第にして之を全國裁判所に附嘱せしむる關係上本年度內に一部判檢事の移動をなすべしと

◎運賃低減撤廢と釜山

大阪商船釜山支店長 藤山銀藏氏談

本月十一日より實施されたる長距離特定運賃低減法撤廢に依り吾が釜山が蒙る影響は決して尠少に非ざるべし其の程度は結果に俟つに非ざれば今俄に論及する能はざれども從來の滿洲及び鮮內對釜山の立脚地として論ぜんか之れが爲め釜山に對する貨物は散じ去るべき影響[illegible]

▲滿洲貨物 は地勢の上より見るも吾が釜山は大連ご集注を爭ふに困難の位置にあり然れども從來の商取引の關係上又は大連の面船腹の不足甚だしき爲め釜山が貿易額の三分の一を集注し得たるが今回の低減法撤廢こ鈴木商店の船腹こに依りて大連が如何に有利の位置に立ちたるかは明白なる事實なり今左に之れを數字的に顯はさんに大正六年度輸移出高は四十九萬二千五百十五噸にして

釜山（輸出 移出） 二七〇、八六八 六一、七七〇 噸

滿洲貨物（通過 釜山打切） 一四一、五一六 一八、三六一 噸

を示せり而して今回改正されたる運賃に依り大連に最も不利なる地點たる

▲安東縣を起點こして算定するに釜山通過阪神行きは豆粕一噸に對し

釜山迴送		大連迴送	
汽車	八八二錢	汽車	七二九錢
釜山雜費	六〇錢	大連雜費	四一錢
阪神船賃	九〇〇錢	阪神船賃	八二五錢
計	十八圓四十二錢	計	十五圓九十五錢

にして既に二圓五十錢の差額を生じて大連の有利の位置にある此の如し最も船賃の引上げ及び引下げは出來得るものこするも釜山の如き最低運賃にて迴航しつゝある點に於て比較するも到底大連方面に及ばず之を安東以北長春奉天に於ては論及の餘地だになし加之從來の

▲船腹不足 に依りて輸送力を殺がれつゝありし大連に鈴木商店が過般三千噸級の大二十二隻を迴航せしめたるは本社の船腹擴張の小割的影響こ相俟つて一層有利の地位に立つ可く吾が釜山の受くる影響は之れのみにても少しこせず而して之れを近距離に於ける貨物に就きて考ふるも近距離運賃は遠距離こ比較して割安こなれるを以て其の程度は判定し得ざれども其の幾分を仁川群山其他沿線各地に吸集せらるゝは論を俟たざる可し要するに大連が今回の改正に依りて受くる有利の

▲二原因は 運賃の比較安こ船腹の增加こにして釜山の不利なる二原因は運賃の比較安より生ずる大連迴航こ各地迴送こにあるものこ見るも差支無かるべし故に結局吾が釜山に於ける貨物は散狀態には案外の打擊多かる可きを以て其の善後策を講ずるは甚だ緊急問題なる可しこ同頃して大正五年長距離特定運賃低減法の實施を見たる際大連が如何に狼狽したるかに想到するも此の際釜山こしては躊躇の時機に非ざる可きなり（釜山支局）

◎產業資金融通機關利用に就て

京城商業會議所調查

京城商業會議所は最近全鮮の各地各部に照會を發して過去現在及び將來に亘る地方の產業狀態其施設及び其他の件に關し調査する所ありて其利源を究めんこし大局に於て全鮮現在の產業組織又は形式の整備せるこを發見せり而も其形式の整備せるにも拘らず之が利用方面に於ては尙ほ尠少こせず特に金融方面に於て然りこ做せり蓋し既に樞要の地には殖產銀行（現在は殖產銀行）あり各郡に金融組合の設けあり產業資金の融通機關は既に充分にして朝鮮文化の程度に於て殆んご遺漏なき程に網羅せられ居れり然れども社會上實際の金融は其等の進步したる機關は利用せらるゝ事尠く却つて所謂金貸によつて左右せられつゝある狀態なり而して各郡こもに此缺點を指摘し

▲金利の高き に失せるを訴へざるはなし今月利に就て見るに全羅南道康津郡の如きは五分乃至六步を普通こするが故に同地方の高利こ稱するものに至つては月利一割以上を要するやも知れず江原道平康郡の如きは最も低利なるに拘らず尙最低二步乃至三步こせらる其他推して知るべき而已記者は試みに任意に十郡を選んで其平均利率を求めたるに月利最低二步九厘最高四步八厘五毛を得たり此利率は即ち朝鮮全部の市場利率こ看做し得べく銀行利率以上に普遍的に且つ有力に

▲社會を支配 しつゝあるものなることを記憶せざるべからず更に右の如き高利の貸借方法を見るに普通播種期に將來の收穫を擔保こして借入るゝものにして地方によりては青田貸の習風尙ほ存續せるを見甚だしきに至りては農家は播種すべき種子すら尙ほ借入れざるべからざる窮狀に居る者の如くなるが故に一般農民の貯蓄の觀念は永へに與へられず爲めに企業心を萎靡せしめ勞働觀念を消耗せしめ生活を常に困憊の狀況に置き產業の發達を阻碍しつゝあるは否定する能はざる現象なり

▲金融組合等 の設けあるに拘らず尙最も不利益なる高利貸を利用する所以を或る郡衙は人民が銀行等の貸出の手續き煩瑣なるに歸し或る郡衙は農家の信用狀態が容易に銀行貸出を爲す能はざるに歸し或る郡衙は舊來の惡弊の結果人如何に不便なるを以て銀行を利用するの一なるに歸せり其の理由の如何れに在るを問はず只事實上金利の高きに過ぎ[illegible]の障碍を與へつゝあるを認め之を除却するの最も急務たるを感ずるものなり言へば朝鮮の如く部落經濟又は市場交易時代に於ては其金融は恐く

▲高利貸の手 に歸する朝鮮の經濟史の敎ゆる所にして朝鮮の市場金利を其見地に立ちて觀察する時は強ち高きに失せりこは思はれざれども古代の市場交易時代こ異り進步せる金融機關の整備せるに拘らず尙ほ金利の低落の困難なるを觀るも[illegible]の社會的の習は何物を以てするも急激に變革する能はざるものにして只年月を俟つて始めて解決すべきものなれども何こか工夫なきものか利源の開發上最も妨げこなるものなりこ

◎棉作樂觀說

本年全南道に於ける陸地棉作は蟲害の爲め六七分作ならんこの悲觀論あるに對し道廳飯島技師は絶對に此れを否認して曰く、余輩が實地調査の結果每一個の實棉全重量は一匁乃至八分あり萌は前年より聊か小なるやの觀あれども能く前述の結實あれば各郡當局者が從來推定報告したる七分見當こは却つて重量多く更に木取棉こなりて品質を幾分不良こ爲さしめしものあるも其分割は世間想像の如く半數以上に達する事なく又開綻棉こ木取棉この各期每の實收穫は強ち大差あるものにあらず尙ほ全く開綻せざるものは極小部分にて本年に限らず例年こても斯の如きもの[illegible]あり現に附近各郡の報告に比し決して減少し居らず坊間惜しみ收穫遲延の理由に依る出市の減少を目して棉作六七分作なりこの悲觀論は採るに足らざる杞憂說なりこ

◎電話增設二百

大正七年度遞信局に於て增設せる電話數は京城の百五十口を最こし釜山の五十口大邱平壤の各二十二口其の他合計約三百口にして既に大分工事を終りたるが加入申込數は約八百口にして架設數を超過する事五百口なり

◎京電當期成績

京城電氣會社にては燃料石炭の一噸十四圓內外の者を使用するに至りたれば前期に比し二三圓方騰貴したるこ共に從業員給料の增加せしも[illegible]

◎京城群山線增設

遞信局にては京城こ群山方面この電報激增するため現在三回線を有する京城群山間の電信線一回線を增設する事こなり目下架設工事を續けつゝあり

◎水源造林著手

豫て本年秋の事業こして計畫中なりし元山府水源造林事業は愈々此程植付く可き苗木も到着したるを以て十五日より之れが植樹に著手し本年度に於て唐松一萬五千本を植付く可き豫定にして之れが總段別約五町歩なりこ

◎元山商銀開業期

元山商業銀行は[illegible]山崎谷愛氏外七名の申請に係り去月九日設立認可ありたる元山商業銀行に於ては目今主なる發起人二三商用旅行中にて發起人總會の開會が爲すこご能はず此分にては開業手續も自然遲延の止むなく來春早々營業の運びこなるべし因に同行は資本金四十四萬圓に待ち一銀行を併合し資本金總額五十萬圓以上のものなり

◎芳賀院長歸京

內地へ出張中なりし總督府醫院長芳賀榮次郎氏は十六日朝歸京せり

◎印刷從業員募集

龍山總督府印刷所にては[illegible]

◇四平街より

▲司令官巡視 同守備隊司令官高山中將は各隊巡視の爲め十日來着したるを以て官民は同夜賀ホテルに中將を請待して歡迎會を開き席上有益なる談話の交換ありて盛會を極めたり中將は翌十一日八面城鄭家屯の守備隊を巡視して十三日再び四平街に引返し植半旅館に一泊の上十四日南行す▲東拓總裁石塚東拓總裁は十三日午後三時二十分來着鄭家屯を視察し即日引返し一泊の上翌日十五日南行す▲鮮銀檢查役來朝鮮銀行檢查役富樫克巳氏は過般來滯在中なりしが用務を了り十二日南行したり

◎鳥瞰錄

▲歷代の朝鮮軍參謀長は筆家に[illegible]くば筆家に詩人、乃ち明石柏嶺、立花鳴洲、古海船跡、白水孤峰の各將軍悉く然りである▲そこで去年[illegible]來た[illegible]司令官で來て最近中良要塞司令官に轉じた市川堅太郎中將も能筆家で世間からきめられ方々より揮毫攻めを盛んにやつたが中將は『乃公は書けん』の一テン張りで[illegible]にもその筆跡を殘して居らぬ▲若しありこすればそれは代筆である將軍が遂に揮毫の筆をとらなかつたのは非常の努力を要したらうこのこゝ▲新任參謀長の大野少將に揮毫攻めに對する應戰準備は如何ですかご聞くこ▲將軍曰く『註りますか書けぬ一タイ書けぬものに書けこ云ふのは酒の飮めぬものに飮めご強るこ同じで無理な話だ』▲將代の軍參謀長が書いたからこて何人にも筆の執れるこきまつこらんが幸ひに市川中將が無揮毫の好例を殘されたので吾輩は前任者の方針を踏襲して若し揮毫攻めを受くるこすればどしく追つぱらうつもりだ』▲伊藤海事課長を遞信局に訪ねるご課長は頭上に白いものを上てる▲『何です』ご聞くこ『風邪で發熱しさるから水嚢を頭にのせてる五六日前は發熱のため耳かきほくなつて閉口した』▲忙はしくて寢て居れぬのらしいが水嚢を頭上に事務を執る程熱心な人も恐らく外になからうこの事である▲十四日乘浦で沈んだ朝鮮郵船慶資丸の積荷はわづかに十四個乘客一人こはその被害こに驚くしてあるのは全く總督府命令のためですが然もそれに船が沈んだれしては叶ひませんよ』こは朝鮮[illegible]課長の話し。

南山竹枝　江、南

其一

辛苦春殘挪舍萌。晏々垂綸不耐愁。
[illegible]

其二 舊作

細腰輕。簫絲南山擒虎容。風前妙舞
將軍昨自去京城。綠酒紅燈難結盟。洋水重逢何處是。東風未送渡江情。

其三 同

容貌才華膾談坂。酒間援筆訂仙盟。韓山風月送東事。一去一留何爾情。

◎奉天省長內定

◎壽町の火事

十六日午後九時半頃壽町二丁目[illegible]

◎週募集規定

▲用紙は[illegible]

流行性感冒の豫防と手當

今度の感冒の危險なる特點

目下猛烈を極めて世界を侵しつゝある流行性感冒は、大體に於て普通の風邪と變りはないが、其症候中相違する點は、突然惡寒を催して發熱し初め、熱度は四十度以上にまで及ぶことがある。又咳、背、四肢等の節々が非常に痛みを覺はたり、鼻、腸、咽喉、氣管支等に加答兒を起して、鼻血や咳が出たり、下痢、腹痛を起すこともある。而して此の病狀は、一般に流行性のものとして輕視されてゐるが、人體に對して頗る危險な影響を與へる若し重症となる時は肺炎、肺結核等の危險性の病氣を誘發して現在盛に死亡する者もある有樣故、本病に患つたならば直に完全なる治療法を講じなければならぬ。

完全な手當と療法

而して何人も此の病に侵された時は、充分に日光の通る室を病室となし、患者の熱度高まりたる場合は氷を以て其頭部を冷すとは勿論であるが、外にホシ鎮痛解熱藥の如き責任ある解熱劑を以て熱の消散に努めねばならぬ、又小兒が本病に罹りたる時は、其病症は大人の場合と同じであつても、小兒は勿論生理的組織が薄弱であるから、其手當も又充分に注意し、小兒の體質を基礎として專門的に配劑したるホシ小兒風藥を服用せしむる必要がある。兩藥共に東洋第一の本社工場に於て、十數名の醫學士、藥學士及ドクトル等が責任を以て配劑したるものであるから、其效能の顯著なるとは言ふまでもない。

痰咳と咽喉の良藥

而して本病の症候の一つとして非常に痰咳を頻發する人もあるが、斯くの如き場合はホシ祛痰藥を服用し、又本病の爲めに咽喉を侵された場合は、ホシ復方鹽剝散を以て每日數回含嗽をすれば速かに治癒するのである。

ホシ祛痰藥

ホシ復方鹽剝散

東京市京橋區南傳馬町三丁目

星製藥株式會社

電話京橋 一七八五・三〇二〇・四一一七

振替東京 二〇五二二

ホシ小兒風藥

定價 金拾錢

今度の感冒に効能最も顯著なる

ホシ鎮痛解熱藥

定價 十錢 廿錢 五十錢

新學期通信講義

會員募集

顧問 肝付男爵

講師 島山學士外十數氏

造船講義錄

上にて大歡迎就職紹介見本付規則二錢送れ 東京本鄉西竹町 日本造船協會

技術員缺乏の急に應じ最新式通信教授を爲す技術習得生日收二圓以上

產科 婦人科

京城壽町 電話一二〇二番

二宮醫院

醫學士 二宮亮吉

母よ……忘れますな

愛兒のために

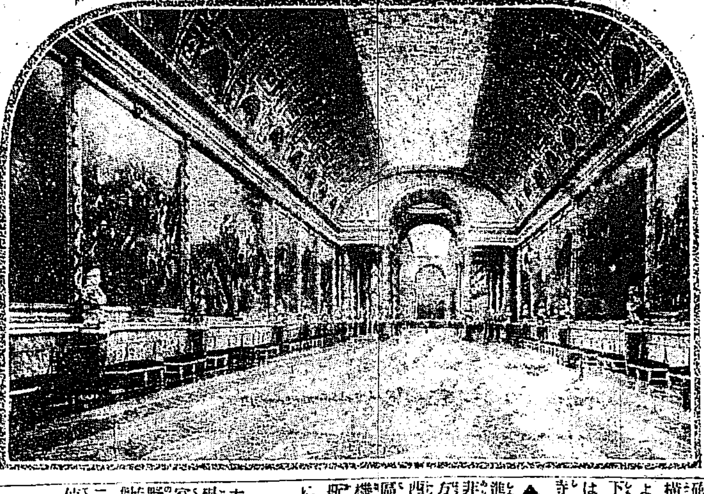
カゼにはノドをさゝへる

森永 ミルクキャラメル

森永製菓株式會社

…休戰と雖も政府の用品及び工事契約等は大體從來と同じく施行し急激の變更を避くべきも裁分殆の…來施行し來れる産業上の制限は漸次撤退し平和的方面に振向くるを要し工業局は暫くこれ講和條約調…

◇ヴエルサイユ宮殿戰爭の間　講和會議が開かれるといふ同宮殿中の有名な殿中の一室で左右の壁畫は名匠の手になる佛蘭西昔よりナポレオンに至るまでの戰爭畫を以て滿されてある所謂戰爭の間であるその殿中にこの大戰の平和會議を開くのは面白いではないか……



◎獨帝の審判場
ヴエルサイユ宮殿
＝講和會議は此處に開かれん＝
普佛戰爭に勝つた獨帝の祖父が即位式を擧げた因縁の處
◇世界の名匠の壁畫になる戰爭の間

▼歴史始まつて以來の大戰爭は終に記憶すべき十一月十一日を以て局を結んだ是からは講和會議である獨帝が野心の夢の跡はどう處分されるであらうか之が舞臺は多分佛蘭西のヴエルサイユ宮殿と定るらしい歴史以來の大戰爭が此の▼歴史的建築物に依つて局が結ばれるのも何かの因縁であらうヴエルサイユ宮殿は巴里を距る十一哩のヴエルサイユ市にある秦の始皇にも比すべきルイ十四世が四億の財力を費し十五萬の人夫を指揮して建築したもの其規模の宏壯其の樣式の華美誠に一大美術品の如きものである由來佛蘭西の國王は代々此の宮殿に於て即位の式を擧げたのである其の壁畫は世界の名匠を集め十字軍戰爭から奈翁一世に至るまでの▼歴史的事蹟を描き繪畫、彫刻の數、枚擧に遑なく其の文庫には十一萬一千卷の書を貯へて居る附屬の庭園はルネサンス式の好標本として世界有數の者と稱せられ競馬場、射擊學校等まで備はつて居る普佛戰爭の際普魯西軍は一擧巴里を包圍したが其時普軍は逸早く此地を占領し其の包圍の最中鐵血宰相ビスマークはウヰルヘルム一世をして▼此の宮殿に於て帝位に即かしめた實に西暦一千八百七十一年の事であるウヰルヘルム一世は今回和蘭へ蒙塵したカイゼルの祖父である祖父は此宮殿に於て即位の式を擧げ孫は此宮殿に於て世界平和攪亂者としての刑罰を受るのである亦一の奇蹟ではないか

◎戰鬪たけなはなり
大演習第二日
……（承前）……

下館に向ひ攻擊を開始せる第二師團（東軍）は主力を小栗附近に向け前衞は遊田西脇に位置し近衞師團砲兵は遊田附近に向ひ下野砲兵約七八十門を有する其砲兵は門井、藤塚間に位置せり第十五師團（東軍）は吉田、總田に亘る間に展開し騎兵團は▲主力の作戰を容易ならしむる爲め末明谷附近に前進せり而して西軍は當然正面の敵を攻擊す可く第十四師團は主力を以て左翼方面の逢田新田附近に向ひ其砲兵は宮本附近にあり第一師團は樽塚附近に展開し主力は下館東側より北繁田、樽塚に向ひ其砲兵は下妻、高埜間に位置し第十三師團は主力を築地に向け騎兵團は法釋寺附近の▲陣地を占領し敵の前進を阻止せんとしたる結果東軍利非ずと見て一時戰鬪を中止し稍後方に退却せり東軍司令官の決心は西飯岡北部高地より櫻川の左岸地區を經て北條附近の陣地を占領し機を見て攻擊に轉ぜんとする如し斯くて陛下には午後二時大本營に還幸遊ばされたり

▽飛行機の活動　十六日午前七時より西軍飛行機は根據地たる佐野を發し利根川の上空を飛翔して敵配置を偵察し猶ほ野立所附近なる近衞師團の頭上に爆彈を投下し西軍飛行機二十四號も結城方面の敵情を詳細偵察せり（宇都宮電報）

▽御統裁　＝第二日＝
大元帥陛下には十六日午前八時半栃木大本營御出門九時三十分御召列車にて結城驛御著驛の南方十丁の御野立所に向はせられ御統裁の後午後一時十五分栃木大本營に還幸あらせられたり（栃木電報）

◎獨皇太子の生死
生きて居ると云ふ說もある
獨前皇太子に就き一說には彼の屍體は和蘭國境に向へる列車内に發見されたりと謂ひ尚一說には彼は十二日午後マーストリヒトに着せりと（紐育電報）

◎新らしい國
＝が建設されて戰後の地圖はどう變るか!!
米國が大軍國となる●世界的の大戰爭が終局すると勢ひ各國の勢力消長に依つて世界の地圖が著しく變化して地圖面の上からいろ〳〵な色彩に變る事と思はれる、それについて某消息通は曰く『即ち此の結果は◆世界の大國であつた露西亞は革命の爲めに支離滅裂し獨逸は又國情一變して是迄とは全然異つた思想が同國を支配し今にも共和政體にならんとして居るし墺地利匈牙利は各種民族が蜂起し中間部にあつては波蘭、チエツコ・スロヴアク、羅馬尼などは共に獨逸の爲に敗れたれども近く回復すると同時に◆新たな國になるなど形勢一變を來たし土耳其は土崩瓦壊し亞細亞土耳其、メソポタミヤ、パレスタイン、シリア等は英國の爲に全然無くなつて了ふだらう、而して植民地にあつては阿弗利加の形勢が一變し獨逸領アフリカの西南所、東アフリカ、西南アフリカ、カメル東アランドは◆悉く聯合國の爲に處分されて了ふが更に戰爭の爲めに新しい國も出來る、芬蘭、波蘭、小露國、高架索共和國及び西伯利にある廿有餘の各政府などは其例だ、尚此戰爭に重大な意義を齎す者は從來は主として商工業で建つた米國が今度强大な軍國となつた事である』

◎將來永久に……
國を護る最大の力
＝わが海軍の此大戰に得たる經驗＝
喪失せるは二艦一艇と二船のみ
休戰が成つたのに就て某海軍將校は語る『回顧すれば我國は海戰の渦中に飛び込みて世界の舞臺に肩を並べ更に西伯利に活動して視聽を注がしめたが其間に於て我が海軍の損害が甚だ大きく無かつたのは大に祝すべき事である、勿論それと同時に乘員の死傷者及び其の家族に對しては深甚なる哀悼と同情とを忘れてはならぬが、今喪失された艦艇を見るに彼の軍艦『高千穗』が膠州灣にて九十號の魚雷を受けて沈沒したのを始めとして同じ青島沿海で驅逐艦『白妙』と水雷艇一隻の外トロール船佐門丸外一隻丈け損傷を蒙つた彼の『榊』は地中海に於て戰鬪し、多數の將卒は死したが艦は修理が出來て不幸中にも全損失とはならなかつた、艦船の損失は斯く五指を屈して足る程の僅少で濟んだ、此の戰ひの中に得た青島其他南洋の群島の事は今は云はぬ之れよりも將卒の死を惜まず猶つて任務に著いた精神は偉大にして雄々しい形のまゝに帝國を益してある所以ち最近の全く一變せる戰術兵器を實驗せる事がそれで、それはやがて將來永久に國を護る最大の力となる此力が死せる幾多勇將猛卒の代表ともなつて居る、恐らく死者も亦之を以て瞑せる事と信ずる』

◎海軍側委員
或は竹下中將か
…[illegible]…此中竹下中將の呼聲最も高く更に海軍參事官山川端夫氏及び海軍大佐野村吉三郎氏も隨行すべしと…[illegible]…ほ二回の討論を終り更に二兩日中に會議の結論を得て各將軍は來週を以て各々…[illegible]…護すべき義務を有するもののみなれば何等の曲折なきは勿論なり只奉天省に於ける省陪問題は…[illegible]

◎租借地女學校では
裁縫手藝を主科としてゐる
＝滿洲學事視察團歸る＝
◆青島で支那人から買物するに不便がない

十月廿三日出發以來滿洲學事視察を終へて十五日午後七時廿五分南大門驛に到著したる府の學務課小田省吾（?）氏以下二十八名の一行…今十六日小門の官舍に訪へば『調査は未だ纏まらないから何卒勘辨して下さい』と片隅の旅行鞄を指して笑ひつゝ語る

北は吉林ハルピン、南は青島まで視察した此度はこれを地方から見ては滿鐵附屬地、關東都督府管内新占領地青島の三つに大別する事が出來る、また教育の種類の上から云へば日本人教育、日本人の手になる支那人教育、日本勢力内に於て支那人教師に依りてせらるゝ支那人教育、純支那教育の四種類に分つ事が出來る、これを部分に話せば長くなるが◇その何れもが頗る進歩の跡が見えて居る　中でも面白く感じたのは小學校の外租借地では大連と旅順に中學校高等女學校もあるが滿鐵の方には中學校も高等女學校も無い、だから小學校を卒業して中學なり高等女學校に入學希望の者は租借地の方へ行かねばならぬ、その替はり滿鐵では各地到る所に實科女學校がある、これがまた大いに異つた學校で本科と專科の二科に分かれ本科は實科高女に似た性質を持つて居るが專科は◇入學の時期も生徒の年齡も定めてない　希望者は既婚者でも何でも好いわけである、そして裁縫手藝を主科とするのであるからこの學校は一般効果も非常に良好である事が出來る、滿洲に於ける支那人教育は支那の國民學校に日本語を置いてあるので朝鮮に於ける普通學校へ◇國語を置いてあると同一であつて頗る成績は好い方であるけれ共一點もあるそれこれは萬事に相違…だしまだ遠く及ばぬ感がある、青島など支那人商店で買物をしても決して不自由を感ぜなかつたには一驚を喫した要するに我々は單に滿洲に於ける教育を視察したのみならず大陸に於ける我帝國の勢力の如何に大なるかをも見て益意を强うしたと共に仁政の有難さを感じ教育家の責任の大なる事を自覺する事が出來たのである

◎大阪惡感冒
死者四百
流行性感冒の爲め大阪市内の死者一日四百名に上り人心恟々たり（大阪特電）

◇滿洲學事視察團一行（十五日夜南大門驛にて）

◎在浦鹽軍
戰捷祝賀
＝分列式
在浦鹽聯合軍は十五日戰捷祝賀の分列式を行ひ大谷總司令官其他各國司令官の閲兵を受けたり（浦鹽電報）

◎生絲が騰る
講和！それ來た
十圓方奔騰
生絲は平和の商品で戰時は兎角贅澤品扱を受け佛國では輸入制限を行ひ大得意の米國でも參戰後或は輸入税を賦課するとか又は◇輸入を禁止するとか最近は自國紐育の生産に制限を加へ巧妙なる輸入制限を加ふべしとの噂あり生絲は時局的の威脅を蒙るのみか絹、羊毛の如き高値を出すことが出來なかつたのみか年々生産調節を講ぜなければならぬ始末で市場では講和を歡迎して居た戰争が歇めば世界的大景氣が現はれるのは▲歴史の證する所で殊に今回の如く聯合國が名譽ある戰捷の局を結び就中大成金國の米國は非常な好景氣を現はすに違ひないさうなれば生絲は羽が生えて飛ぶ二千圓說は往有力となつて來る斯うした人氣の所へ休戰條約の調印を傳へたので夫來たと許り仲通りの人氣は有頂天となり定期の賣屋は腕を鳴して踏み退く◆得たりと許り一齊に買ひ捲くる往來は外人の旅行列で素晴らしい景氣騷ぎを演ずる煙花の音に遂に人氣は爆發し買つたくで相場は飛び上がり遂に先物百六十七圓ドタ三十四円方の奔騰を示し近頃稀有の大商内に市場は講和氣分が横溢して居る是では二千圓も遠くはなささうな勢ひである（横濱特信）

◎佛蘭西教會
休戰感謝祭
十七日午後三時より明治町天主教會（佛蘭西教會）に於て光榮ある休戰を喜ぶ聯合軍國民の休戰祝賀の感謝祭を擧行すべく李王職洋樂隊の奏樂あり各國領事の參列ある筈にて尚一般の參觀をも歡迎すと

二日月會員に告ぐ
來る十八日（月曜日）午前十一時より清華亭に於て二日月會例會相催候間御出席被下度候
サクラビール内　二日月會幹事

◎釣錢代用札
停止さる
違反すれば處罰される
東京市内では一般に銅貨の不足して居る結果各商店が多少釣錢に窮して居るのは非常であるが之れが爲め各商店に於ては一町内又は小賣商組合或は一個商店等で競うて一錢又は二錢の商品切手或は預かり證、商品引換券等を發行して◇釣錢に代へ　種々の弊害を作つて居る、例へば豆腐屋と肴屋と八百屋の三軒が妥協して一錢二錢の引換券を發行して再び此の店より購求する事を餘儀なくせしめ又呉服物其他日用品購求の際も同樣商品切手で釣錢を渡さるから不必要なものでも買ふといふ風になる即ち◇押賣の形になるので大藏省ではこれが發行停止を命じ既發のものは全部回收するやうに移牒するに至つた若し禁止令を犯した者は證券發行者も之れを受けたものも一年以下の禁錮千圓以下の罰金に處せられ證券は無効になつて了ふのであるから注意すべきである

◎メソヂスト教會（旭町二丁目）十七日午前十時半主日學校午前十一時禮拜說教…牧師午後七時半禮拜と說教

◇給仕入用　希望者は本人直接來談あれ但市內に確實なる保證人を要す
京城日報社編輯局

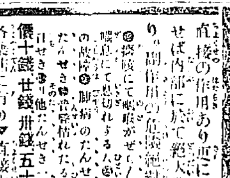
▲廣告▼

謹近火御見舞
大正七年十一月十六日
京城本町二丁目
花月
新花月

謹近火御見舞
京城本町二丁目
浦尾旅館
電話一〇七三番

謹近火御見舞
京城本町二丁目電話一〇一四番
營業鷹取虎次郎

胃が丈夫であれば、聽力も强健になり、頭腦も明晰になる、而して有らゆる活動にも堪へ得る樣に成る胃を丈夫にするには、我陸海軍の五大軍醫が合議して調劑した、健胃劑中の王と云はる、胃活を服する一事に限る



胃病良藥
定價 胃活壹圓、五十錢、三十錢、拾五錢
本舗 東京日本橋本銀町 山田安民藥房
大阪南久寶寺町 山田安民藥房

◎從業員募集
內地人男 十六七歲ヨリ二十歲前後ノ者
內地人女 十三四歲ヨリ三十歲迄ノ者
朝鮮人男 十六七歲ヨリ三十歲迄ノ者
右希望者ハ履歷書携帶每週火木土曜日午後出頭スベシ
在龍山 總督府印刷所

自祝 新築落成 開業
忠北淸州 北一樓 電話三五番
樓主上田滋治郎
十一月十五日

たんせき ぜんそく
不思議にとれる！
痰咳喘息の藥は種々あるが本統に効く藥は稀である。他藥を服んでも効なき人は是非本舗の立効丸を試されよ、キット不思議な速効が顯れます。立効丸は甜藥にしてノドに直接の作用あり而して之を嚥下せば内部に於て絶大の奏効あり。副作用の危險絶對に無し
◎痰咳にて呼吸がせはしくする人◎喘息にて息切れする人◎咽喉氣管支の故障◎肺病のたんせき◎風邪のたんせき◎音聲惱れたる人◎小兒百日せき◎其他たんせき一切に大効有
價十錢、廿錢、卅錢、五十錢、一圓
各藥店に有り▼直接本舗へ御注文は振替又は代金引換の事
本舗 東京下谷池之端仲町二十七 守田治兵衛藥房（振替東京一二九八五番）

たんせきゼンソク藥 立効丸
東京 守田治兵衛

京城本町二丁目七十三（大平町大通り）
入院隨意
片山內科醫院
電話一九五一番
片山信夫

短期運轉術修了
教科書無代交附（會則送呈郵券貳錢）
自動車運轉手養成
東京芝區芝浦埋立地
東京芝浦自動車講習會 電話芝四七三〇・四七三六
●附屬東京芝浦飛行機講習會

創業明治二十八年
各時計卸商
蓄音器
貴金屬製作卸所
京城黄金町二丁目
喜多金光堂
電一〇一五・振替京城七八二一

京城電氣會社特約販賣
コールタール
龍山漢江通り八 電話四九番
金物商 島田忠作商店

國産・治淋・新藥
GONOSALVIN
ゴノサルビン
優秀卓絕 價格低廉
白檀油代用藥
効果的確にして消化器障碍なく純內國產なれば價格從て低廉
大阪市外中津町光立寺 發賣元 三友製藥合名會社
特約店 大阪道修町 武田長兵衛　東京本町 小西新兵衛
文獻見本醫家に限本社より進呈

勸業債券 月賦販賣
商品各種 月賦販賣
大正二年創立
報國公債株式會社滿洲支店朝鮮支部
當社は永年各位の御愛顧と御信認に依り社運益隆盛に赴き社會一般の好評を得候事は社員一同の感激に堪へざる處に候
商品月賦販賣は此度創設致し候最も趣味と實益多き方法に付き御申越し被下度候
◎有給外勤社員招聘本人來談保證人を要す
京城府若草町百六番地　電話三〇一一番　振替京城六五九番

朝夕の一杯は百藥に優る

健康はあなたの寶！
この寶を得るには
博士の賞讃ある美味滋養の葡萄酒
赤玉ポートワインを
召上るに限る!!

…したるが出所柄一時は大騷ぎを演じたり發火原因は目下取調べ中也

…[illegible]…十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 廿一日…[illegible]…
▲發表後一週間以内に到着文は五十錢以內の…[illegible]…京城日報社…[illegible]

母と子 (二十五)

北島春石作　森田久畫

植惣（二）

今朝は毎度の例に依つての散歩のみならず、志保子や幸枝が目覺めぬうちに、いさゝか相談があつて出掛けたのだから、直樹は木鋏の音を頼りに庭木の間を潜つて行つた。

と、一抱へもありさうな古松に梯子をかけ、枯れ葉や枯れ枝を刈込んでゐた植惣は、

『ヤー先生、お早う。』と、太い幹の間から樹下を見おろして、相變らず元氣の好い聲をかける。

『おゝ、今朝は珍らしく精が出るな。』

『あッは……、怠惰者の節季働きと言ひやしてね。』

『人間は働くに越した事はないが……今頃は松の手入をする時機ぢやらうか。』

『何有、さう言ふ譯ぢやねんですが、此奴がさるお邸へ賣れたんで……へい、追々に先方へ運び込むと言ふ段取。そこで、置物にや花を飾れと、お愛嬌に枯ッ葉を摘つてるんでさ。』

『ふゝむ、これ程の松であつたら大分よい價に捌けたらう。』

『ちつと高いと思つたが五百兩で——先方や素晴しい丸持長者なんだから、割合に安ものださ大束は出やしたぜ。』

『はッは……。』と、直樹は、快げに一笑した『さう聞くと唯ではすまされん、今夜は一杯おごつて貰はうかな。』

『へい、吉原の寫眞店でも素見して繰込みやせうか。』

『寫眞店とは……上野邊に寫眞展覽會でも開かれたか。』

『もう些と北國筋に當りますがい……くら學がおあんなさらうと、此奴ばかりは解りますめえ。』と、木鋏を腰に、植惣は梯子傳ひに降りて來た。

直樹は植惣と肩を並べて、ゆるやかに歩みを移しながら

『時に、此間頼んだ事は何うなつたらう。』

『へい、その件で後程にも嬶アをお傭ひをさせやうと思つた處で。』と手肩先の蜘蛛の巣を拂ひながら『前ともの離れ座敷なら、ほんとにお誂へ向のかくれ家なんだが、それぢや餘り手近すぎるこのお話だから、弟子共を追つ廻して彼方此方と探させると、好い鹽梅に一間見つかりやした。建物が古いんでガタピシしちやゐるが、一間きりの二階で六疊、一間の押し入れもあれば申譯ばかりの床の間もあり、南向きで馬鹿に日當りが好うがすぜ。あれが本郷か神田の繁昌地なら、默つても大兩がものはあるのに、諸谷もここらは邊鄙だから電燈付で月二兩半。だから、昨日のうちに五貫だけ手金を打つて來やした。』

『それは早手廻しぢやつた。で、場所はどの邊かな。』

『ここから些の二三丁……彼方なら誰にだつておいそれと氣が着きやせんぜ。』と得意顔に『恩う言ちや失禮だが、何しろ、男世帯の手狭のくつた古木ばかり、別に分ける程の臺所道具もありやすめえから、家で不用なガラクタ道具を狩集め、それに悪い夜具だが一組の布團が濟んだら小僧に屆けさせやすから、其方の御都合でいつでも娘に御案内を。』

『氣の毒ぢやなあ、さうまで重ね／＼厄介をかけては。』と、直樹は植惣の義侠心に感じ入つた。

『志保子に聞かせたら、屹度涙を流して喜ぶぢやらう。』

『何の！先生。』と、植惣は苦もなく打消した『情は人の爲めならずと浪花節の文句にもありまさ。』

『然し、お前達夫婦の厚意に依つて、憐れな母子は始めて救はれるのぢや、いづれ、志保子からも禮は述べさせるが、これに對しい俺が生涯恩に被ると云ふ事を忘れてくれるな。』

『何うしやして、これでも植惣は江戸ッ子でさ。この先も時も場合ちや、火水のなかへでも飛込みやすぜ。』と、痛快にメートルを上げたキビ／＼しさ。

京城明治町一丁目
入院隨意
冐腸病院
院主 佐々木杏造
電話一六五九番

ばかりの値を賠へてゐる豊か野菜も買占めたのであるまいが或る野菜市人は「私の宅には人根や菜類が未だあるのです……何に今少しすれば未だ／＼騰りますよ」と口走つてゐた（消息通）▲南大門前は何日も旭町一面から流れる下水の爲めに一大切な一等道路を小川化してゐます追々結氷期に入る

◎慶北物產共進會案內

◇恩賜授產館　には臨時恩賜金御下賜の勅書を飾り四周に陳列せる臨時恩賜金に依る事業生產品は精選にして多くを飾らざるも又以て聖恩を說明し餘蘊あるなし

◇エッキス光線實驗室　室は會場出口の附近に位置す東京日本電化學燐株式會社の出品にして科學應用の威力を說きて觀覽者をして驚嘆せしむ

◇奏樂堂　は最近式白堊塗にして演舞場と相對し絶えず劉喨たる樂を奏し會の景況を副ゆること多し

◇演舞場　は場內最東の位置にありて『セセッション』式白堊の建物にして夜間は大邱內鮮妓の秘術を盡して演舞するあり夜は又大邱協贊會の催しとして醇多二輪加等を演ぜしめ觀覽者を樂ましむる處多し

◇其他　場內には鈴木商店、朝鮮民報合同の新聞閱覽所、京城日報社の休憩所、共濟會無料休憩所、慶北警察部消防詰所、郵便局出張所、東亞煙草會社賣店、大邱及び郡島協贊會の即賣店あれば觀客をして充分の滿足を與ふべきを信ず

皮膚科
徽毒科
專門
外科
京城太平通二丁目
扇田醫院
電話二三五八番

僕の領分

▲太平町のだるま食堂附近の料理屋の軒燈の下に毎夜八時頃より十時頃迄の間に婦人が現はれ近所の男を見れば話しかけ……（判讀困難）……くもなく騷ぎ立て通行人の迷惑一方ならず其の筋の取締りを願ひたい（洋服の男）▲料理店が濟掃の帳を見て下さい……なたが是非使つて下さいませんか給料は年みません新町元町二丁目四番地の三〇號小林▲此頃の……店の流行で野菜なども騰く

京城明治町一丁目
院長　醫學士　森定吉
（美容醫院改め）
內科 小兒科
森病院
入院隨意
電話二六二三番

（活眼死眼生）▲大京城こそ繪の中村福七郎の器で會に依つて現はれるに至つたのは誠に悲劇的に取りて一大光明と云はねばならぬ何に我等は中村氏に對し多大の感謝をして置きます（議誌子）……むこする今回何とか修理を施したいのだ（ゴム靴）▲愈々休みに入り……と來ましたが今後は……

口鴨

五の日十の日

○生徒の惡戯を見拔いた晴天の鶸試驗官がすかさず朝の鵯を見たりし
○お山下りの日の鵯にも意匠私等で樹の間くゞりくゞく來池鵯消
○美しい青首の羽毛を拵へさせる阿帳良
○讓の鴨の夜立ちをお前に對しわが手めくれば言はなく夜鴨が立つ
○青菜の乏しい鴨はもう一度……鴨音たわやかな死んである散

——二、二五

新刊紹介（到着順）

▲ローマ字（一一）十二錢東京麴町有樂町一の三ローマ字ひろめ會
▲東洋之光（一一）二十六錢東京小石川原町七八東亞協會
▲京城彙報（一一）十錢京城總督府內京城救濟社
▲尺八界（一一）十二錢東京上野櫻木町東四軒町八三八番地
▲ジヤパンタイムス（學生號）十錢東京麴町內幸町一の四ジヤパンタイムス學生號販賣

皮膚科
皮膚病　徽毒病　淋病　瞥胱病　生殖器　機能障礙
入院隨意（診察夜九時迄）
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目
佐藤醫院
（電話二一一番）

如沸大好評
京城日報連載小說
◎新劇　名匠　左甚五郎
◎新派　連續第三　大・秘密
◎新劇　花時雨
每日大入滿員の黃金館
本日のお休みには

しもやけ・ひび　特效藥　下羽液
內務省許可
發賣元　下羽黃吉
製造發賣元　東京芝區三田四國町二ノ一
特約販賣店募集（定價……）

京日案內
▲市內中國語、英語、漢文……
代診及局員各一名、薬劑生及見習生數名採用す志望者は……
出社し面談せよ　京城日報社

龍山電話貸受たし……

代診生及看護婦至急採用
京城府明治町
七八中島內科小兒科醫院

店員募集　……
京城本町……食品問屋
加藤

薬店（姓名在社）

移轉　質商兼金融業　今回左記に移轉仕候間不相變御愛顧の程奉願候
京城壽町……
大和屋

店員入用　……
眼鏡及鐘錶職人採用
京城黃金町二丁目
喜多金光堂

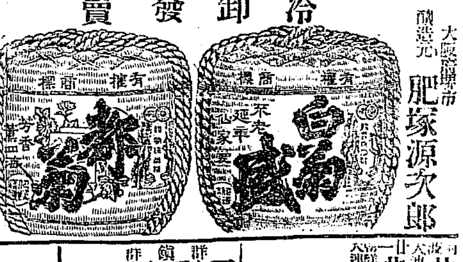
年金恩給　低利貸付
京城永樂町
商品陳列館前下角
江州屋本店

鐵道拂下品販賣
冬羅紗洋服外套
毛皮襟着並防寒具
軍隊拂下品一式
和洋古衣服類各種
金子奧市商店

最新刊
大正八年御曆　……
三宅雪嶺著　東西英雄一夕話
文學博士　支那經濟小觀
思想的立國
手紙の書き方
池上・禪窓奇話
海外之趣　渡邊米の佛教
朝鮮の冬と防寒法
漫畫……
本多浅治著　新式西洋史
京城本町　大阪屋號

專賣特許　第五六八號
無煙元込十二連發　小鳥獵短銃
本銃は日本政府の特許を有する元込小鳥獵用空氣銃にして……
命中　拾八間以上
安全
證
……
大阪東區……
アサヒ商會

冷酒卸發賣
大阪府堺市
釀造元　肥塚源次郎
京城本町一丁目
特約販賣店　佐藤牧次郎
電話一九五番



りん病　ばい毒
百圓呈
帝國醫料大學
……
にせ物と好商
大阪有田
京城南大門外　ドラッグ
大阪有田ドラッグ商會

御召工合良き靴
東京芝區……
內田靴鞄店

共同汽船出帆

共同丸　十一月十七日正午出帆
仁川代理店……

尼崎汽船出帆

群山、木浦、下ノ關、大阪行
秀吉丸　十一月十五日後四時出
大有丸　十一月廿日後四時出
君が代丸　十一月二十日後四時出

大阪商船出帆

群山、大阪行
安東丸　十一月十七日正午出
信濃川丸　十一月廿一日正午出

日本郵船出帆

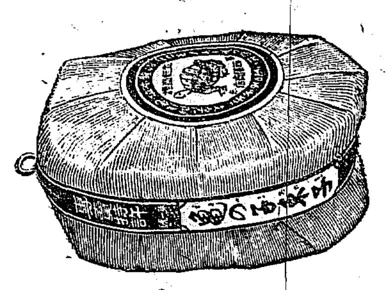
大連、天津行
大連、奉天、高砂丸　十一月十九日正午出帆
大連、田丸　十一月廿七日正午出帆

朝鮮郵船出帆

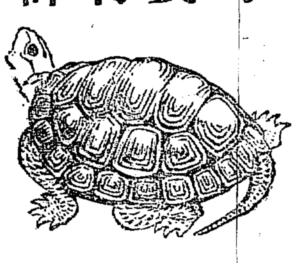
平安丸　十一月十七日
平壤丸　十一月十八日
京畿丸　十一月廿一日
三浦丸　十一月廿二日
穩城丸　十一月廿三日
平壤丸　十一月廿九日
山陽丸　十一月廿一日
三浦丸　十一月廿六日
金剛丸　十一月廿九日
濟州島行
慶興丸　十一月十九日

互光商會廣告

第三吾妻丸　十一月廿五日
第三寶盛丸　十一月十六日



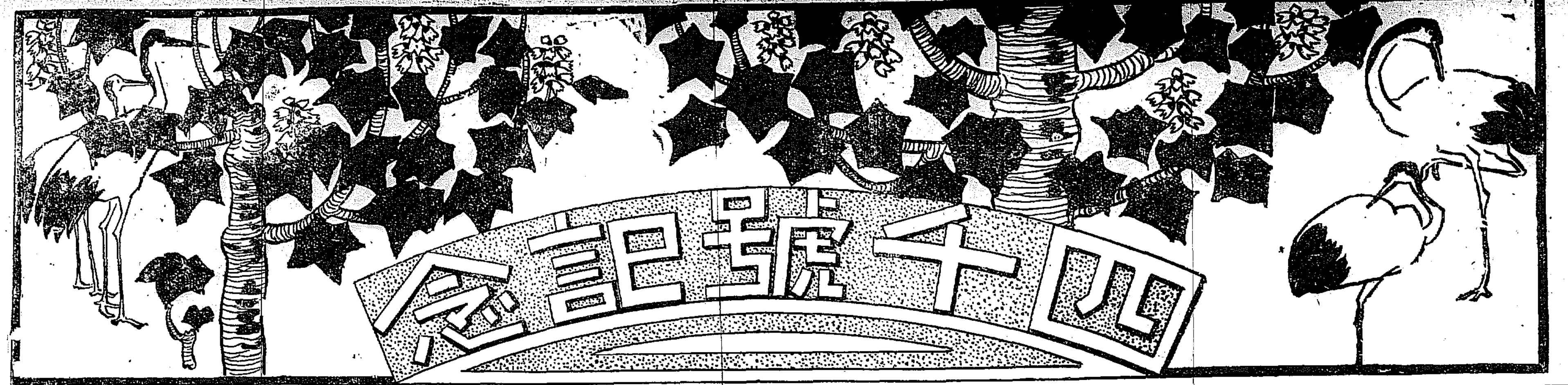
專賣特許
衞生と清潔を慮り且つは他摸造品との混同を避くる爲め嚴密に包裝封緘を施こし荒物店頭花を添る
龜の子束子
——包裝に龜の子の商標があるものなら——
ソレが駈價のないホントウの龜の子束子です
從來用ひ來つたわしを漢字で束子と改めました
東京本鄕眞砂町
西尾商店



◎休戰條約要項の說明

……略しあるもの如し而して第四項……河に北行して引きたる一線と同……の末に假令櫻二千等とあるは其他……この間に中立地帶を設く』は前占……新式驅逐艦五十隻は全部の武裝を……合國側の受諾委員に於て……

▲回航抑留し……北佛約二……合國側の監視の下に置くこと……なるべし而して聯合國側に於て抑留……



○慘憺たる創業の苦心
―朝鮮操觚界を回顧して―

李王職次官　國分象太郎氏談

京城日報も日と共に發展して今や四千號の發刊を見るに至つたのは慶賀の至りである光陰に關守なしとはいふもの、最早創立以來十餘年を經過したとは實に夢の樣な感がする今十餘年前の往時に記憶を迫つて行くと頗る感慨に堪へないものがある抑も

▲故伊藤統監が　朝鮮統治上の必要に迫られて創立せしめられたのが京城日報社の起源であつて敷地建築費等は全部統監府より支出せられたものであるが其の當初は孤軍奮闘の狀態で周圍に在る大小幾多の諸新聞は皆此の京城日報社の敵ならざるはなかつたのである即ち統監府の政策を理解してその擁護者として朝鮮統治に全力を盡すものは只此の京城日報一社あるのみであつた殊に京城日報社の大敵として朝鮮全土に亘つて大勢力を有したのは英人ベッセルの經營に係る大韓毎日申報社であつてこの

▲強固なる基礎を　覆へして我が味方たらしむるこいふ樣な望みは殆ど空に月を待つよりも猶及び難い感があつた此の大敵を前にして健闘を續けた日報社の苦心は如何許りであつたであらう追想するだに慨然たるものがあるしかし我誠意ある政策は

▲漸次朝鮮人士の　諒解する處となつて遂に日韓併合の實は擧げられ京城日報社の苦心も漸く茲に至て始めて世人の認むる處となつたのである而して朝鮮總督府の設置せらるゝに及んで爾後開發されて行く朝鮮の發展と共に

▲日報社も漸次　盛大を重ね來り今日では毎日申報社をも兼ねて經營するに至つてるが毎日申報社こそ即ち以前の大敵であつた大韓毎日申報社の後身である所謂時代に伴なふ變遷に依つてさしも榮へたる大韓毎日申報社も遂に我が手に歸する樣になつたもの、是れを買收するに臨んでの

▲苦心は並々で　はなかつた如何に京城日報社の勢力が日に加はるとはいへ大韓毎日申報の勢力には猶遠く及ばなかつたのである何分にも韓字で發行する大韓毎日申報の基礎は全朝鮮人士に對して頗る大なるものがあつたに比して京城日報の勢力は僅に内地人間にあつたのみで此微々たる京城日報が強固なる基礎を有する

▲大韓毎日申報　を買收するのであるから苦心の存したのも當然の事である即ち日本内地人の名義に因つて是れを買收する事の全然不可能なる事を悟ると共に朝鮮人の名を以てし是れを經營するに就ても朝鮮人の名義を用ひねばならず爲めに内地人は黒幕の裡にゐて事實上の經營はしてゐるもの、表面は朝鮮人の經營として居たのである斯くして月を重ねて行く内に漸次我が

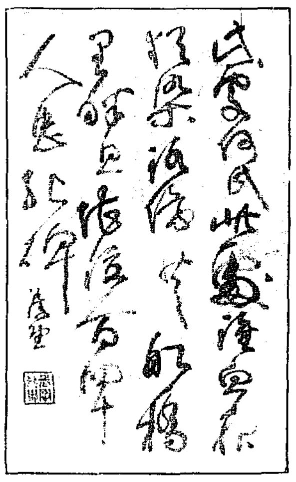
▲統監府の誠意　が朝鮮人士の間に諒解されて來たが其の大韓毎日申報社の黒幕となつて經營してゐたのが即ち吾輩であつた恰も國民新聞社長の德富猪一郎君が此の京城日報社に關係する樣になつてから自ら衝に操つてゐた大韓毎日申報を同社に讓り渡した次第であるが茲に至る迄の曲折は迚も一朝にして述べ難い事である京城日報社創立の當初より今日に至る迄の歴史を知つてゐる吾輩として四千の號を重ぬる記念の今日を如何に默してゐる事が出來よう即ち衷心より愛に祝意を表する次第である（東京支局）

經營十年後業　力千號主
祝京城日報四千號紀念　正毅書

陸軍大將元帥　伯爵　寺内正毅氏筆

論鋒鋭筆陣雄風
祝京城日報第四千號　敏胤

陸軍大將　松川敏胤氏筆



陸軍中將　長岡外史氏筆

懸賞當選和歌

尾上柴舟先生選

一等

■冬の朝　慶州金泉本町　倉成藤水

牛乳の罎のぬくもり手先より心に沁みてなつかしき朝

率直なおよみぶり、いひがたく懐かしい初に冬らしい情趣がある

二等

■同上　鎭南浦三和町山口方　今井明

石を切る山に傭はれ石くれの冷えに怯ゆる冬の朝かも

二句はすこし說明に失した感があるが結構である

■同上　京城花園町六十九番地　松本與一

化粧してつとめに出づる我が妻を冬の朝はいとしとぞ思ふ

ごんな身分の人か分らぬがいかにも身分相應な感じがある

三等

■同上　南大門驛小荷物室　浦井順次

野に出んと我に寄り添ふ馬の瞳に朝の陽映ゆる初冬の朝

飼ひ馴らしむ馬のさまが見るやうである

■落葉　京城花園町杉本方　松井秀水

落葉焚く夕餉の煙りす青き山かげの家にわれは子なりし

作爲のあとはあるが言ひ馴れた口つき

■冬の朝　釜山辨天町一丁目　平河久一

鰊船脚重たげにきそひ來る港のくちの冬の朝なり

下句でもう一寸いさな說かずに港のくちの力強い姿をあらはしたところ

四行　（吉反古）

親に事ふるに孝を以てす
兄に事ふるに悌を以てす
君に事ふるに忠を以てす
友に交ふるに信を以てす

附錄四頁添附

祝四千號

朝鮮郵船株式會社

C.Y.K.

■各寄港地に荷客取扱店又は代理店あり

本店　京城南大門通一丁目　電話二一九五・二一三一番
釜山支店　釜山佐藤町五番地　電話一八四番
元山出張所　元山海岸通一丁目　電話二三八番

■帝國鐵道院、南滿洲鐵道株式會社、日本郵船株式會社、大阪商船株式會社と連帶輸送の便あり

温泉

■東萊温泉　金山鎭驛より電車三十分にして達す、附近に梵魚寺あり……

■海雲台温泉　東萊邑より自動車二十分にして達す、對馬海峽を望む……

■儒城温泉　大田驛より自動車三十分にして達す、附近野趣に富む……

■温陽温泉　天安驛より自動車三十分にして達す、京城より日歸りに適す

■龍岡温泉　鎭南浦驛より自動車二時間にして達す、西鮮唯一の良温泉

■五龍背温泉　安奉線五龍背驛より數丁、温泉旅館の設備清楚……

南滿洲鐵道株式會社

懸賞論文當選發表（二等）

宴會改良私見

京城西小門町　水島小平

一

吾國現行の宴會には缺陷が多い、何とか改良しなければならぬと云ふ事は夙に各方面で唱へられてゐる、然しどうも妙案も出ぬものと見ゑ、殆んど改良の實は擧らぬやうである、妙案到底出でずとすれば現行の儘推移する外なく、宴會改良必要論は無用になりたるかと云ふに必ずしも然らず、時勢の變遷、衛生思想の進歩は日本式宴會の非衛生的非經濟的なるを指摘し一層實行し易き宴會改良の急を促してゐる、これ京城日報が這回懸賞を懸けて汎く一般より斯論の募集を企てられた所以であらうと思ふ

二

然らば予輩に相當な名案があるのかと反問さるれば、遺憾乍ら擧げ得ぬと答ふる事は出來ない、唯予は常に思つてゐる、一體日本流の旗亭で公式の宴會なるものを催すの如き若くば高等な西洋料理店の事は全廢して終つて之れをホテルの料理屋はプライベートの遊興の如きに移して了ふがよい、日本流つまり打ちさけて飲み、打ちとけて樂み、打ちとけて遊ぶ場所にしたが好い、その建築、その習慣、その設備が悉く予の此の所信を裏書きしてゐる……と

三

予の西洋料理に公式宴會を擧げて移すべしと云ふ論は、何もハイカラ西洋かぶれの考へから出たものではない、西洋料理は第一食卓開始時間が比較的に精確である、終了時間も然りである、料理が衛生的である、日本式宴會の最惡患たる盃の獻酬と云ふ樣な愚な事を繰返す必要がない、隣客とその狎妓の私語や嘀々を聞かずに濟むのである、此の見解は近來餘程上流中流の間に浸染して來たらしい、それは素より經濟的であると云ふ理由も含んではゐようけれど、此頃京城で目立つた宴會は朝鮮ホテルにもつて行く、青木堂や市中の主なバーでも宴會式の集まりは少くないやうである

四

去り乍ら世の中には悠つくり坐わつて、美しいのを前に置いて、時には三絃の音を耳にせぬと、假令それが公式の威儀を繕らはねばならぬ宴會でも――酒の味が不味いと云ふ人が多い、恐らく酒の味に通じてゐる人は殆んど悉く然りと斷じて差支へなからう、而して此種の人が日本には存外少くないこれ容易に宴會の多き日本式の公的宴會が襄へぬ所以と考ふる、更に京城や釜山では西洋料理店もあるから好いが、大邱や平壤や更に田舍の方に行つては宴會場となり得る快適の設備を有つたレスターラント無きを奈何せんである、勞々日本式の宴會改良は焦眉に附せられぬ、予は月並み乍ら思ひ付の二三を列擧し、愚文を省みず敢て募集に應ずる事とした、賢明なる記者諸彥の採擇を受け大方讀者の一粲を得る事とならば幸ひである

五

日本式宴會の改良は色々な方面に於て行はるべきものであらうが、結局髭に詰むれば（一）集會時間の勵行（二）膳は必ず高膳を用ひしむる事（三）來客代表者の挨拶を簡單にする事（四）盃の獻酬の全廢（五）成るべく撤宴時間を區切りよからしむるため宴會時間なるものを二時間若くば三時間と云ふ如く不文律にする事等ではあるまいか、茲に予は最も多く行はる、招待宴の例に付私見を述ぶる、其の他の宴會も改良の要旨は本論と大同小異と思ふ

六

宴會時間の勵行、之れは下の宴會に行つても予輩の切實に感ぜざるを得ぬ問題である、又何人も時間の勵行は必要だ、かう遲れては困るなど、云つてゐる、然し乍ら誰れが遲れるか宴會と云ふ宴會に時間を勵行したのは殆んどないと稱しても可なりであらう、宴會時間勵行の必要論なぞは今更記すべく餘りに陳腐である、茲には如何にしてその勵行を期すべきかを研究しよう、愚見によれば（一）招待者に於て開宴時間に誘引をせぬ事よく七時の開宴だから六時として置かうなど、云ふのがある、こんなのがそこ此處に重なつてゐると正直な案內狀が來てもハヽア三十分かけねがあるなんか思ふやうになるのである（二）定刻に必らず開宴する事遲れて來た人は一種の感じを受けてそれが結局常習遲參者でも漸次治すやうになる、又當分の間招待狀の端に開宴時間勵行仕まつり候とか何とかの文字を加ふるのも亦可なりと思ふ（三）官民の有力者は必ず時間を勵行する事若し主な人が一人でも來ぬと主人側はその人の一人のために多數の客を待たする事は多いものだそれ位に扱はる、有力者は大いに注意して欲しいのである

七

主客の著席が濟むとそこに運んで來る膳部に高膳を用ふるのは京城でも多くない、何れも低いのをベタと盤の上に据て行く、衛生上から云へば高膳も普通の膳も同じであらう、然し客の受くる感じは非常に違ふ、乃ち膳が並び伸び藝妓がバタバタ歩くやうになつて必ずそこに謙々と包つて居るべき塵埃を讙ぐが高ければ幾分防げるやうに感ぜらる、、素より氣持ち許りでその藝妓等より受くるゴミの洗禮に異なりはあるまいが、旗亭で大事なのは氣持である心せねばならぬ事だ、予は此點に於て高膳を用ひぬ某々料亭で注意したらよく分つてはゐるけれどもどうも高膳は藏つて置くのに困るから止むを得ぬとか言つてゐた、多數の器物を備へねばならぬ料亭では成程左樣の點はあらしい

う、然し乍らそれ位の設備なら敢て問題であるまいではないか

八

膳が出た、女が並んだ、酒の一盃も飲みかけると、すぐ拍手が起つて主客の挨拶になる、コレは簡單に限る、極めて簡單でなければならぬ、何故ならば酒も來てゐる吸物も來てゐる、女もチンと坐つてゐるのに、ベラ棒に長談をされてはすべてのものは冷めて終うし、感興――折角起り來らんとする感興も冷めて終ふからである、コレが西洋料理ならば一巡食ひ終つてからの事だし、多少永くなつてもよい、然るに日本式の食前、飲み前に譯々山鳥の尾然と說かれては實にたまらない、何人も宴會で大議論や大抱負を耳にしようとは思つてゐないし、聞いても腦髓に殘るものではないのである、宴會の挨拶は主客共輕く多少滑稽味を交へる位にあつさりやつて退けて欲しい

九

盃の獻酬コレは日本式宴會の一大缺點である、御互に唇に附けた盃の取り交しをせねばならぬと云ふのは實に不潔な話しだ、それも二人や三人の間ならいくらか好いとするも實際の主人側は數十人若くば百人以上の人と一々取交さねば禮を缺ぐやうに云はれるに至つては考へるだけでも悚然たらざるを得ぬ、盃洗で洗へばよいだらうと云ふ者もある、然るにその盃洗の不潔さは又一層で殘酒の貯留所と云つた形である、汚れた殘酒と湯のチヤンポンで盃を洗つたとてそれでドコに好いと云ふ音が出るか、盃の獻酬も極めて健康な懇意な二三の友人間なら親密の表彰として許すべしだ、然るにドンナ病氣を內臟に有つてゐるやら分らぬ者と、然も多數人と盃のとりやりを致さねばならぬとは日本式宴會は何と云ふヒドイ習慣をつけさしたものであらう、確實な調査も統計もないから何とも云へぬけれど、此の盃の獻酬が病菌の媒介をした例は蓋し少くなからうと思ふ

一〇

非衛生的な盃の獻酬は廢すべし、と云つても仲々其をやらぬと承知せぬ手合が多い、中にはその獻酬で盃の數を重ねようと思つてゐる者もあるらしい、主人側は一つ頂戴々々で座を廻らねば禮を辨へぬなど、云はる、、奇體な仕來りだ、此の奇體な仕來りは各人の衛生觀念によつて廢せばよろしいけれど左樣に行かぬ現狀であるとすれば、國家の力を以て之れを禁じ少くも之れを減ぜしむるのは國民保健上より見るも必要の事と信ずる、かくすれば宴會が淋しくなると云ふ者もある、主人側は手持無沙汰だと云ふ者もある、然し宴會を賑はすのはいくらも方法はあらう、主人側の手持無沙汰を防ぐには主人側が德利を以て酌をして歩いたらよからう、現に此の方法を實行してゐる人は大分ある、川上東拓理事の如きはその一人である

一一

最後の成るべく撤宴時間を區切りよからしむるには床柱に据わつた一二の主な人の動靜に、會衆は必ず同ずるやうにすればよい、乃ち床柱子は自分が標準となる事を常に思ひよき頃合を見あやまらぬやうにせねばならぬ、床柱子にその位の責任を有たすのは何も問題でなからう、現に京城でも司法官と軍人の宴會は床柱子――少くもその邊にゐる人の行動が標準となつてゐるから極りが早い、コレは司法官軍人のみに限らせたくない、宴會で悠つくり女と樂み、酒に親まうとするは先づどちらかと云へば心得違ひであらう、それは別席で座を改むべきものだらう

一二

論じて茲に至れば、余の所說は極めて平凡である事を自分でも感ずる、然し乍ら遠い將來は兎に角日本式の宴會を當分廢すべからずとすればその改良策は前述の五箇條で大凡盡してゐるであらう、前述の五箇條を改めれば日本式宴會必ずしも唾すべからず、余等の如き下戶も亦敢て不服を申さぬのである（をはり）

文光耀

京城日報刊到第四千號恭祝　硯海

衆議院議長大岡育造氏筆

蝸角紛々何足算
論唯欲濟時艱
文壇稱覇雞林地
有十餘年筆硯間

遥祝京城日報四千號刊行　七十有〇　讓山

貴族院議員男爵田健治郎氏筆

前在劉郎今又來　雄峰學人書

內閣書記官長　高橋光威氏筆

祝辭

警務總監　岡喜七郎

新聞紙は實に社會の木鐸なり邦家の啓沃國運の進展に寄與する所誠に大なるものあるを思はずむばらず我が京城日報は朝鮮に於ける新聞紙中最も古く且つ最も有力なるもの、一なり余曾て京城に在り二代の統監に歷任し朝夕其の記事に親しみ穩健なる主張と敏活なる記事とに對し竊に滿腔の敬意を捧げたりき辭去茲に九年今や其の創刊四千號祝典のことあるを聞き感慨轉た禁する能はざるものあり聊か蕪辭を寄せて祝辭に代ふ　冀くは將來益〻隆盛に赴かむことを

我思君切（支那の謎）

鵞鳥飛で田心近く、群羊離散七刀並ぶ

是れで支那の謎になる、即ち「鵞」から鳥が飛んで「田」と「心」がクッ付い「群」の「羊」が離ふして「七」と「刀」とが並ぶと「我君を思ふ切なり」といふことになる

祝四千號
和洋紙印刷機械材料一式及印刷
㊂近澤茂平
京城長谷川町　電話二七五番　長九四三番

祝四千號
土木建築請負　諸官衙御用達　電氣機械販賣　私設電話工事請負　淺野小野田セメント販賣　並ニ運送業
高嶋周祐
京城明治町二丁目　電話長五七二番

祝四千號
石炭商
近藤謙助
京城義州通一丁目　電話八三五番

祝四千號
信託業鑛業
明星商會
京城黃金町二ノ一四八　電話長一四六四番

祝四千號
京城岡崎町
㊄三幸洋行
電話長一八〇〇番

祝四千號
龍山漢江通十三番地
大和社運送部
店主　大村與次郎
電話長四二〇番　振替京城一五六一番　支店平澤驛

祝四千號
三井物產株式會社
京城支店

祝四千號
京城電氣株式會社

懸賞小説　岐路　（二等）

大邱東門町三七　三輪百合子

檢事局での取調べがばかに手間とれたため監獄へと向つた時は、長い夏の日も早や西の山に沒せんとして最後の光を投げてる頃であつた。そのあかい陽を脊にして自分のかけ法廷に追ひつくやうにそれでもとぼ〳〵と歩む足は重かつた。

『有罪！』

鉛のやうに重たい胸がしぶ〳〵開いた。と思ふと又この判決が頭をもたげて來た。泣きたいやうな、笑ひたいやうな自嘲心が、彼女の顔を曇らしたり皮肉な笑を含ませたりした。

『やつ、御苦勞樣!!』避かつたですね。』

『有難う!!、御めん下さい。』

突然の問答に、はつとして顔を上げると、もう監獄であつた。右側の通用門で、附添つて來た看守は、門衛とこんな會話を交しながらなほも大股に歩んだ。彼女は自分の靴の上に鋭い四つの眼が注がれて居るのを意識しながら、面伏に看守の足跡の通りを跟いて行つた。小使室のやうなたゝきを過ぎて石だゝみを十歩も行くと、看守ははたと止まつた。彼女は此處が事務室であらうか。そして自分は何處に落ちつくのだらうと、おど〳〵しながら漸く正面を向いた。

其處には看守長や二三人の看守が、何かはなしながら笑つて居たが、彼女等が這入ると急に緊張した顔附になつて、彼女を注目の焦點にした。

彼女は看守長から、原籍、現住所職業、罪名といつたやうに取調べられた。その看守長は役柄に似合はぬ優しい顔をして居る男で、始終笑を含みながら、和綴りの帳簿を披つて靜かに訊いた。

一通り調べがすんだ。

『それでは女監へ。』

看守長は帳簿をひろげながらも一人の看守に顎で命令した。

『オイ此方へ來るんだ。』

その看守は立ち上ると叱りつけるやうにかういつた。彼女はその看守の後に續いた。

石だゝみの廊下を五六間も歩いたかと思ふと、そこから左に折れて、冠木門と黒塀とで一劃をなした所へ出た。『女監』と木札が附けてある。看守が門わきの綱を曳くと、がらん〳〵と悠長な、けれど高い音があたりに流れた。

間もなく四十位の女監取締が門を細目に開けて出て來た。女監取締は一寸彼女に目をやつて、

『新入ですね。御苦勞でした。』と看守に會釋して、彼女を連れて引き返した。一足踏む度に敷かれた小石が、泣くやうに斯へるやうに音を立てる。取締は、さつき受け取つた名札を、

『窃盜犯　木村タマ』と小さく讀んで居たが、

『お前は何をしたの。』

と訊いた。襟のかゝつた著物をすきなく著こなした態度は、素人とは思はれなかつた。でも何處かに世馴れぬ初々しさがあつた。彼女はまだ若かつた。

『どうしたの？』と訊かれて彼女は、P―で酌婦をして居たが、家へ歸りたくて〳〵、我知らず茶箪笥の上にあつた財布を、中を改めもせずに盜つた事、その財布の膨脹が無くて袂の中に入れて置いたのを、翌朝になつて發見された事を口ごもりながらはなした。そして藤岡の生れで女學校の二年まで行つたが、父に死なれて退學した後は、母と二人內職に賃仕事をしてこの三月まで居た事、ふと京城の三井物産で、邦文のタイピストを募集して居るといふ話を聞いて、母に無斷で飛び出したが、京釜線の列車でだまされて、P―へ賣られた事も語つた。年は十九だといつた。

女監取締は默つてきいて居た。けれど時々彼女に投げる瞳の色は善良な人間の、深い心持ちを表して居るやうだつた。彼女は偉い愛の手で、脊中を撫でられて居るやうな心持ちになつた。家出以來の張りつめた心が急にくづ折れてさめ〴〵と泣いた。取締は云つた。

『お前は好い人間だけれど、あんまり成功を急ぎすぎたのだらう。よくある事だが、又恐いと知りつつ深みに陷込まれ易い所だから、よく考へて、決して自暴自棄にならぬやう、氣をたしかに持つてお出で。監獄は外で見る程いやな所ではないんだから。』

彼女は暫く啜り泣きをやめなかつた。さうして行く間に、今度は小さい門に出た。其れを這入ると、そこはもう監房らしかつた。右側と突きあたりに丁字形に、それが立ち並んで、腐つた綿を蒸したやうな臭が彼女の鼻を打つた。澱み切つた汗の臭が縺いて襲つて來た。

此時夕陽はすつかり影を斂めて代りに五燭の電燈の仄暗い光りが、監房の格子戸から淡く流れて居た。取締が歩く度に、ぎゆつ〳〵と靴が鳴つた。彼女は格子戸の中から幾十の眼が、自分を注視して居はしないだらうかと感じた。彼女の額から汗が滲み出しては鼻すぢのあたりに流れた。

洗面所らしい所で、足を洗はせられると、

『さア、此處で著物をみんな脫ぐんだよ。』

と言はれた。

彼の女はクリーム色の縞子とメリンスの腹合せ帶をときかけた。するともう一人の取締が、正面の事務室から出て來た。背の低い穩かな顔附の四十代の女であつた。

『新入は何處から來ましたの。』

『P―だ さうですよ。』

『まだ若いんですね。』

と言つて、その女は這達の名札を受取ると、事務室へ歸つて行つた。

彼女は著物を脫いだ。水色地の派手な袷の模樣が、くつきりと白く浮き出た。縋た青い筒袖の未決內著が、彼女の豐艶な身を包んだ。細紐のやうな帶をしめて、木綿の前掛をかけてしまうと、彼女は又さしくまれた。此處へ這入る時の古綿のやうな臭さは。此の囚衣から出て居るのであつた。蒸されたやうに浮いて居る電燈の光りに、自分の陰影が小石の上に淡く落ちた。彼女は見すぼらしい囚人の姿を、彼女自身の上に見た。荒んで行く自分の生活が、たう〳〵此處まで進んだ事を、彼女は寧ろ自然の成行のやうな心持ちで考へた。

―世の中の人間は、自分をどうしても、恁うした事にせねば氣が濟まないのかと、彼女は思つた。そして彼女は、勇ましく行く所まで行かうと決心した。取締の訓誡も心にあつた。自分をもつと強く成長さして行く事は大切だと思つた―が、彼女が此處までの心持ちは、彼女自身にも、

『私は失望はしない。確に自己を改造する目的をもつてゐる。』

と心強く思はれた。此處までの心持ちは、恰度決勝點目かけて飛び込んで行く選手の、張り切つた心持ちであつた。然し優勝旗か眼の前にチラついて、わッ、わッさいふ應援隊の歡波の聲に、氣勢をつけて飛び込む選手には、飛び込み甲斐がある。優勝旗や、賞品や、歡聲のない選手が、苦痛と嘲笑と指彈とをあびせかけられて、ヒイヒイと喘ぎながら走る。―彼女はふと自分を意識した。獄衣から發する腐つた古綿のやうな臭ひが、強く鼻を打つた。華氏百度以上の朝鮮の夏に、これから牢獄生活を續けて行かなければならぬのだ。私はコレラか何かで死んでしまふかも知れない。―否！屹度死ぬ。この暑さに、あの溫室のやうな中に入れられたら、屹度死ぬ。―とも彼女は思つた。

それから、涼しさうな浴衣がけで明るい灯の街を、笑ひさんざめきながら客を…ふ仲間の女達の群がさつと彼女の頭腦を掠めた。―

『少し暑いけど我慢してね、まア、よくお考へ。』

と、取締が言つた聲に次いで、けたゝましい鐵錠の閉まる響きが彼女の背後でした。と咽び返るやうな人いきれが、彼女の全身を抱擁した。一層強い古綿の臭、汗の臭便器の臭、朝鮮人の皮膚の臭、呼吸の臭、更に判斷のつかぬ異樣な臭が、その小さい一房に漲り返つて、濃厚な牢獄氣分をつくつた。高い天井から落ちる萎黄色の電燈の光が、十人許りの同じ獄衣に身を包んだ女達を照した。その女達は、皆適當の間隔をおいて靜坐して居た。突きやられたやうに中へ這入つた彼女は、呆然とそこに停まつた。そして自分達が、闇に咲く花だの、ハイカラお玉だのと惑溺な讃の言葉を受けては、時に微笑みながらも、常にそのかさされるやうな、自由、人道、正義などいふ額掛しいらしい聲に、悶々としてゐた當時の心持ちを思ひ出した。彼女は、馬鹿々々しくて泣き出したかつた。

日新又新　明照四方　大正七年小春　李完用

伯爵　李完用氏筆

謹祝　京城日報四千號紀念　趙重應

子爵　趙重應氏筆

祝京城日報四千號紀念　金允植

子爵　金允植氏筆

懸賞小品文當選　不安（二等）

京城櫻井町二丁目一二五　高須賀默

シイーンとした家に居る事さへ不安でならなかつた。緣先に出るとフランス教會の塔が手にとるやうに見えた。

『まさか肺病ではなからう』

今日でもう一週間も休むが。―寢汗が出て、夜になると非常に咳が出て、この胸のあたりが非常に痛むのだ。と云つてとう〳〵肺病で死んだ友人の事を思つた。

『まさか肺病ではなからう』

腕をさすつた。つぎ〳〵と起つてくる不安を無理に私は押し潰した。冬近い日輪は曇つた空に浮いてゐた。

故鄉（二等）

京城蓬萊町四ノ一八　森よし子

それはもう山や川はしみ〴〵私を昔に戻して呉れて涙が出た。が知つて居ただけの幼子はもう立派な青年に、娘に、中には親と呼ばれる人さへあるのを、如何にも不思議な現象でもあるかのやうに眺めた。昔の總てを懷しんで歸つて來た故鄉は、斯うしてなんだか自分ばかり取殘されたやうな物足りないものであつた。

祝四千號
醫療用藥品化學用藥品 醫療用器械工業用藥品
島久商店
京城明治町二丁目 電話一四四 一四五番 振替六七七番

祝四千號
京城黃金町二丁目
有隣生命保險株式會社
朝鮮支部
電話一三五六番

祝四千號
京城本町二丁目
中村再造
電話三六五番

祝四千號
京城黃金町二丁目
太平生命保險株式會社
京城支部
電話一四〇二番

祝四千號
京城明治町
京城魚市場
電話長一四七八番

祝四千號
京城旭町二丁目
印章彫刻 [illegible]堂
守山安次郎
電話五四二番

祝四千號
鈴木商店
京城支店

祝四千號
不二興業株式會社
不二全北農場 全羅北道益山郡五山里
不二西鮮農場 平安北道龍岩浦

祝四千號

齋藤出張店
京城南米倉町
電話長一二九〇番
合資會社 齋藤製糸社
京城坂通
電話長九〇五番

大連市山縣通
三井物産株式會社
大連支店

內國通運株式會社
京城支店

鮮銀囑託工學士
中村與資平
建築事務所
大連市山縣通百番地
電話(長一七九二番)(長二〇四五番)
奉天照德大街
電話三九〇番
京城蓬萊町四丁目
電話一九七七番

京城本町三丁目
田村義次郎
電話一八四番

京城織紐株式會社
京城並木町
電話長一一八八番

經濟的 理想的
安州炭

●火力平均ニシテ耐久性ヲ有シ温突、暖爐等ニ使用シ普通ノ有煙炭松炭煉炭等ニ比シ非常ニ徳用デアリマス
●煤煙白色無臭ニシテ稀薄ナレバ衛生上無害且煙道掃除ノ煩ガアリマセヌ
●先ツ温突、暖爐等ニ使用シ過半燃焼ノ後僅カニ之レヲ採リテ火鉢、七輪炬燵等ニ入ルレバ尚ホ木炭以上ノ火力アリ火持チモヨク一重ノ徳用デアリマス
●煤煙ナキ事ハ都會ノ家庭用トシテ理想的ノ燃料デアリ升
●御買叺賣共價額大勉強御注文ニ應ジマス

販賣所

安州炭鑛 平壤出張所 平壤停車場 鐵道紀念碑前 電話長六一七番
安州炭鑛 新安州貯炭場 新安州清川江岸
安州炭鑛 鎭南浦取次店 鎭南浦三和町 電話三〇〇番
安州炭鑛 京城出張所 岩田商會 京城南大門通り五ノ一七 電話長二六六
岩田商會出張 京城西大門驛前 電話一六七九番

京城黄金町二丁目
御料理 清華亭
電話長二五番 八一三番

京城旭町一丁目
御料理 千代本
電話長一一三五番 二二七五番

京城本町二丁目
御料理 花月
電話五七番 三三〇番